

官報

號外

明治三十二年三月三日 金曜日

印刷局

第十三回 帝國議會 貴族院議事速記錄第三十八號

明治三十二年三月二日(木曜日)午前十時開議

議事日程 第三十八號 明治三十二年三月二日

午前十時開議

第一 國籍法案兩院協議會成案

會議(兩院協議會)
議長報告

第二 水難救護法案(議院送付)

第一讀會

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 家祿賞典祿處分法施行法案(議院送付)

第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 噸稅法案(議院送付)

第二讀會ノ續(特別委員)
議長報告

第七 關稅法案(議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員)
議長報告

第八 登錄稅法中改正法律案(議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員)
議長報告

第九 明治三十年法律第十四號關稅定率法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員)
議長報告

第十 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員)
議長報告

第十一 討論終局ノ動議ニ關スル規程外一件特別委員會報告

會議(特別委員)
議長報告

第十二 明治二十九年年度決算ニ關スル建議案

會議(決算委員)
議長報告

第十三 國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案(子爵長岡義典君外二名發議)

會議(前會)
議長報告

第十四 廣島縣下糸崎港ヲ輸出入港ト指定スルノ建議案(男爵尾崎三良君外二名發議)

會議

第十五 官立農事試驗場ノ支場ヲ廢シ府縣立農事試驗場ノ國庫補助費ヲ增加スルノ建議案(周布公平君)

會議

第十六 區裁判所設置ノ請願

會議

第十七 不正肥料販賣取締法制定ノ請願

會議

第十八 金粉金箔製造賣買取締法制定ノ請願

會議

第十九 衆議院議員選舉法改正ノ請願

會議

第二十 營業稅法改正ノ請願

會議

第二十一 鹽田特別地價修正ノ請願

會議

第二十二 船舶司檢支所設置ノ請願

會議

第二十三 蠶種檢査法追加ノ請願

會議

第二十四 日清貿易機關銀行設立ニ關スル請願

會議

第二十五 清國債金ノ一部ヲ教育費ニ充ルノ請願

會議

第二十六 電信局開設ノ請願

會議

第二十七 村境界變更ニ關スル請願

會議

第二十八 郡役所ヲ廢スルノ請願

會議

第二十九 小學校教育費國庫補助ノ請願

會議

○副議長(侯爵黑田長成君) 本日ハ議長差支ニ附キマシテ本員代理ヲ致シマス、是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

昨一日本院ニ於テ可決シタル政府提出印紙稅法案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ承諾スヘシト議決シタル政府提出明治二十九年年度豫備金支出ノ件外七件ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ其旨ヲ奏上シ及衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ否決シタル政府提出臺灣總督府法院ノ判決ニ對スル大審院ノ裁判權ニ關スル法律案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ更ニ廟議ヲ盡クサレムコトヲ奉請シ及否決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領シタリ

商法施行法案

非訟事件手續法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領シタリ

府縣農事試驗場國庫補助法案

小學校教育費國庫補助法案

各委員長副委員長左ノ通選セラレタリ

領事官ノ職務ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵長岡 副委員長 周布 公平君

國有林野法案外一件特別委員會

委員長 子爵谷 副委員長 子爵岡部 長職君

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、國籍法案協議會成案會議、兩院協議會議議長報告

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 諸君、此國籍法案ニ就キマシテハ毎度申上グル通數、此議場ヘモ出マシタ終ニ協議會ト云フコトニナリマシテゴザイマス、昨日協議會ヲ開キマシテサウシテ兩院委員互ニ相談ヲ致シテゴザイマス、ソレデ向

フヨリ此入夫ト云フ字ヲ削リ且ツ又特命全權公使ノ一條ヲ第十六條ノ第三號ノ宮内勅任官ノ次ニ入レ致シマシタ所ヲツレヲ辯明ニナリマシタ辯明ノ上コチヲヨリモ其修正ニ附イテ同意ノ出來難イ箇條ヲ申述ベマシテゴザイマスルガ終ニ互ニ討論ノヤウニ相成リマシテハ結局穩當ニ協議スルコトハムヅカシイ譯デゴザイマスルカラシテ雙方カラ各々三人ノ委員ヲ別ニ選ンデ合シテ六人ト云フモノヲ出シマシテツレデ先ヅ内閣議ヲ遂ゲテツレデ協議員ノ議ニ掛ケルト云フコトニ決シマシテ衆議院カラ三人貴族院カラ三人出シマシテカラニ内閣談ヲ致シマシタ結果ガ即チ此御手許へ出テ居ル通第五條ノ舊トノ即チ第二號デアリマスル「日本人ノ入夫」ト云フ事柄ヲ衆議院デ削ッテゴザイマシタノヲ之ヲ貴族院ノ意見通復活ヲ致シマシタ、ツレカラシテ從ッテ又其結果トシテカラニ十六條ノ「歸化人ノ子ニシテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者及ヒ日本ノ養子又ハ入夫」ト云フ字ガ衆議院デハ削ッテゴザイマシタガ是ガ第五條ノ第二項ノ復活ト共ニ復活セザルヲ得ヌ譯ニナリマシタカラ之ヲ復活ヲ致シマシタ、サウシテ第十六條ノ第三號ノ宮内勅任官ト云フ所ノ次ハ衆議院ノ修正デハ「特命全權公使ト爲ルコト」ト云フ條ガ加ッテ居リマスルデ此事柄ニ於キマシテハ本院ニ於テモ隨分御議論ノアツタ方デ何分是ハ大事ノ役目デアラカラシテハ外國人ノ歸化シタ者及ハ夫等ノ者ニサスルコトハ宜クナイト云フ議論モ段々アツタ結果遂ニ「是ハ場合ニ依ッテハ便利モアルコトデアアルカラシテハ除ケテ置クガ宜カラウト云フテ遂ニ除ケマシテゴザイマスルガ併シ是ハ衆議院ニ於テハ非常ニ此コトニ重キヲ置イテ居リマスルデアリマス、今申上ダタ通六人ノ特別ノ委員ヲ選定シマシタ處ノ結果トシテ此特命全權公使ヲ入レルトハ貴族院ノ方ハ讓リマシテ衆議院ノ意見通致スト云フコトニナリマシテツレカラシテ第五條ノ「入夫ト爲リタルトキ」ト云フ是ガ復活致シマシタ結果トシテカラニ衆議院ヨリ修正致シテ參リマシタ第十八條ノ二項「前項ノ規定ハ外國人ト入夫婚姻ヲ爲シタル後仍ホ戸主タル日本ノ女ニ之ヲ適用セス」ト云フ條ハ即チ刪除ニナリマシタデアリマス、ツレデ今申上ダタ通ヤカマシイ入夫ノコトハ向フガ貴族院へ讓リ又貴族院ハ特命全權公使ト云フ事柄ヲ向フへ讓リマシテサウシテ協議員ノ總會へ報告ヲ致シマシタガ協議會ノ總會ニ於テハ滿場一致ヲ以テ穩當ナコト、認メマシテカラニ決議ニナリマシテゴザイマスカラドウゾ諸君ニモサウ思召サレテ御協賛アラントコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別段御發議ガゴザイマセネバ兩院協議會ノ成案ニ就イテ決ヲ採リマス、是ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數ト認メマス、次ハ水難救護法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

水難救護法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年二月二十八日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

衆議院議長片岡健吉

第十一條 (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
市町村長ハ救上ケタル物件左ニ掲グル事項ノ一ニ該當スト認メタルトキハ之ヲ公賣シ其ノ代金ヲ保管スヘシ
一 物件久ニ耐ヘ難キコト又ハ著シク其ノ價格ヲ減スル虞アルコト
二 爆發物容易ニ燃焼スヘキ物又ハ其ノ他ノ物件ニシテ保管上危險ノ虞アルコト
三 保管ノ費用其ノ物件ノ價格ニ超過シ又ハ其ノ價格ニ比シ不相當ナルコト
前項ノ規定ニ依リ公賣ヲ爲サントスル場合ニ於テ船長其ノ地ニ在ルトキハ市町村長ハ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ市町村長ノ相當ト認ムル擔保ヲ供シテ物件ノ引渡ヲ請求セサルトキハ公賣ニ付スヘキ旨ヲ船長ニ告知スヘシ
遭難船舶ノ所在地船籍港ナルトキハ前項ノ告知ハ船舶所有者ニ之ヲ爲スヘシ
船長又ハ船舶所有者ニ於テ第二項ノ規定ニ依リ物件ノ引渡ヲ請求シタルトキハ公賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條 第一條乃至第四條、第五條第一項、第六條乃至第九條、第十二條乃至第十四條、第十五條第一項、第十八條、第十九條第一項、第二十條及第二十一條ノ規定ハ海軍艦船其ノ他官廳ノ所有スル船舶ニ亦之ヲ準用ス

第二十四條 漂流物又ハ沈没品ヲ拾得シタル者ハ遲滞ナク之ヲ市町村長ニ引渡スヘシ但シ其ノ物件ノ所有者分明ナル場合ニ於テハ拾得ノ日ヨリ三日以内ニ限リ直ニ其ノ所有者ニ引渡スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ拾得者ハ所有者ヨリ漂流物ニ在リテハ其ノ物件ノ價格ノ十分ノ一沈没品ニ在リテハ其ノ物件ノ價格ノ三分ノ一ニ相當スル金額以内ノ報酬ヲ受クルコトヲ得

第二十七條 市町村長ニ於テ第二十五條ノ公告又ハ告知ヲ爲シタル日ヨリ一箇年以内ニ限リ所有者ハ第二十四條第二項ニ定メタル報酬金額並公告、保管、公賣又ハ評價ニ要シタル費用ヲ市町村長ニ納付シテ物件ノ引渡ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ市町村長ハ拾得者ニ第二十四條第二項ニ定メタル報酬金額ヲ支給ス

物件ノ價格ハ市町村長之ヲ定ム但シ鑑定人ヲシテ之ヲ評價セシムルコトヲ得

(政府委員古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 水難救護ノコトニ附キマシテハ明治三年ノ難船救助心得方條目、明治八年ノ内國難船破及漂流物取扱規則等ガゴザイマスガ至テ不完全ナモノデゴザイマス、而シテ此改正條約ニハ日本ノ領海ニ於テ外國船ガ難破ニ罹リマスルト其救助ノコトハ日本ノ法律ニ依ルコトニナツテ居リマス、ツレカラ修正商法ニモ船舶ノ所有者其ノ權利義務等ガ規定シテアリマスルガ其他ノコトハ別ニ法律ガナレバナラヌデゴザイマス、其別ノ法律ナルモノハ唯今申述ベマシタ明治三年ト明治八年ノ布告デアリマス、デ是等ハ今日ノ修正商法改正條約等ト伴フテ行クコトノ出來ヌ不完全ナモノデアリマスルニ依ッテ茲ニ此水難救護法ナルモノヲ提出致シタ次第デゴザイマス、

修正商法モ既ニ成立致シマシタル今日此法ノ成立致シマスルコトハ最モ希望致シマスル所デゴザイマスカラ速ニドウゾ御協賛ヲ願ヒマスル

○副委員長(侯爵黒田長成君) 他ニ御發議ガゴザイマセネバ委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵金子有卿君 此特別委員ハ議長ヘ委託ヲ致シタイ

○男爵西五辻文仲君 贊成

○副議長(侯爵黒田長成君) 議長委託ニ御異議ガゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ其コトニ致シマス、家祿賞典祿處分法施行法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

○小原書記官朗讀

家祿賞典祿處分法施行法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年二月二十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(衆議院修正)

(第一條削除)

(政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 唯今議題ニナリマシタ家祿賞典祿處分法施行法案ノ提出致サレマシタ理由ヲ申上グタウ存シマス、明治三十年法律第五十號ノ第一條ニ明治三年九月太政官布告藩政施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者、是ガ明治九年太政官百八號布告即チ金祿公債證書ヲ交付セラレマス者ハ此五十號ノ法律ニ依リテ全部ノ給與ヲ受ケズ又ハ給與ノ不足額ガアリマス者ハ此五十號ノ法律ニ依リテ公債證書ヲ給與スルコト云フコトガ茲ニ規定ニナツテ居ルノデゴザイマス處ガ此文中ニ錯誤ヲ決定シマス標準ガ定メテゴザイマセヌ故ニ此ノ處分ヲ致シマスルニ甚ダ困難デゴザイマス故ニ施行法ニ於テ此標準ヲ明ニ指示サレタイト云フノガ趣意デゴザイマシタ施行法ノ第一條ノ第二項ニ於キマシテ明治四年七月十四日前各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度ト致シマシタル其理由ハ廢藩置縣マデハ藩政ノ命ズル所ニ依リマシタ舊各藩ニ於テ適當ノ改正ヲ爲シテ之ヲ太政官ニ届出テ太政官ハ之ヲ是認シタモノデゴザイマス、即チ其順序ヲ經テ居リマス制度ナルモノハ正當ナル制度デアリマスカラ此制度ト云フモノヲ標準トシテ錯誤ヲ正サントシマスルモノニ此二項ヲ加ヘマシタルノデゴザイマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテハ明治三年九月十日以後トアルハ即チ十日ノコトヲ指シタルノデアル、ト云フ趣意ヲ以テ此第一條ヲ削除セラレマシテゴザイマス、明治三十年法律第五十號第一條ニ前ニモ申シマシタ通ニ三年九月十日以後家祿賞典祿ヲ有シタル者トアリマシタ其以後ト云フハ三年九月十日其一日ヲ指シタモノデハゴザイマセヌ、即チ其字ノ如ク以後ヲ指シタルノコトハ明ナコトデアラウト思ヒマス、サウシテ三年九月十日以後ノ錯誤ヲ正スニハ何ヲ標準トスルカト云ヘバ即チ各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度ニ依リテ處分ヲスルノガ當然デアラウト考ヘマス、然レドモ其コトガ法律ニ明

示シテゴザイマセヌカラ之ヲ施行法ニ於テ明ニセラレタイト云フノデアリマス、元來三十年法律第五十號ノ出マシタルハ是ハ衆議院ノ提出ニ掛リマシタ貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘラレマシタルノデアリマス、即チ其文中錯誤云々ト云フコトハ貴族院ノ修正ニ掛ルノデアリマス、然ルニ施行法案ノ第一條ヲ削ラレマシテ衆議院ノ意志ノ如クシマスレバ貴族院修正ハ殆ド空文ニ等シイモノニナラウト思ヒマス、免ニ角法律五十號施行上ニハ錯誤ヲ判別致シマス標準ヲ明示セラレンコトヲ希望致シマス、此標準ガゴザイマセヌケレバ錯誤ト云フモノヲ見出シマスニ甚ダ苦ミ譯デアリマスカラ何卒衆議院ヲ削除ニナリマシタ第一條ハ當院ニ於テ復活セラレマシテ此法案ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ偏ニ願ヒマス

○男爵小澤武雄君 チョット質問、此家祿賞典祿ノ處分ノコトニ附イテハ非常ニ多數ノ請願ガ出テ居ルト云フコトニ承ツテ居リマスガ是ハ最早調査ニナツテ此第五條ニ在リマスル一千萬圓以内デ其請願者ニ對シテ處分ニナツテモ金高ハ不足シナイト云フ位ノ御調ガ附イテ居ルモノデアアルヤ否ヤ、ツレカラ衆議院デハ此一條ヲ削除シタ、今ノ御説明ニ依ルト餘程範圍ガ殖エル譯ニナツテ來ルデアラウト思レル、然ルニ此第五條ノ公債證書ノ金高ノコトニ附イテハ何モ修正ハナイノデアリマスガ、之ハ政府デサレタコトデナイケレドモ衆議院ノ意志モ御承知デアリマセウガ前ノ一條ヲ削除シテ處分ヲ受ケルモノ、範圍ヲ廣フニ至ラバ自ラ金高モ殖ニナツテハナラヌコトデアラウト思レル、然ルニ其金高ニ至ラバ何モ修正ガナイ以上ハ衆議院ノ意志モ矢張金高ハ一千萬圓以内デ止メテ置ク意志デアリマシタルウカ、此兩條ヲ承ツテ置キタイ

○政府委員(松尾臣善君) 請願致シテ居リマスル數ハ餘程多人數デゴザイマス、凡ソ二十六萬餘人ニナツテ居リマス其金額等ハ十分ニ調査ガ出來テ居リマセヌケレドモ其儘總計致シマシタナラバ餘程ノ金額ニナラウト存シマス、今度此政府ノ出シマシタ施行法案ノ第一條ト申シマスルモノハ三十年法律五十號ノ一條ニ依リテ凡ソ取調ヲ致シマシタルノデアリマス、ツレデ其結果ガ第五條ノ公債額以内デ先ヅ濟ミマス積デ居リマス、ツレカラ此衆議院ガ一條ヲ削除セラレマシタ理由ハ今申上ゲマス通ニ三年九月十日ノ日ヲ限界トシタノデアリマス、斯ウ云フコトデアリマス、若シツレニ致シマスルトトモ五條ノ公債額デハ足りマセヌト存シマス、是レ以テマダ計算ハ致シテ見マセヌカラ幾ラ程足ラヌト云フコトハ申上兼ネマスケレドモ無論一千萬圓デハ足ラヌノデアリマス、其邊ノコトハ衆議院デモ申シマシタ、委員會デモ屬シマシタケレドモ衆議院ノ意志ハ此一條ヲ削リマシタモ矢張一千萬位デアラウト云フヤウナ意向デ居ラレルヤウニ考ヘマシタデゴザイマス、別ニ其コトハ明示ハシテ居ラレマセヌケレドモ衆議院ハ一千萬圓デ足リルト云フ見込トヤウデアリマスガ政府ニ於キマシタハ此一條ヲ削リマシタ結果トシテハトテモ一千萬圓デハ足りマセヌ其上ハ幾ラニナリマス計算ハ分リマセヌガ一千萬圓デ足ラヌト云フコトハ確ニ申上ゲルコトガ出來ルト云フ考デアリマス

○侯爵細川護成君 唯今ヨリ府縣制改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 定足數ニ差支ナト思ヒマスカラ宜シウゴザイマス

○男爵渡邊清君 本員モ政府委員ニ一ツ承ハリタイ三十年ノ五十號ノ法律ハ

今手許ニアリマセヌガ記憶スルニ政府委員ノ云ハレルヤウニ即チ家祿賞典處分法處分スル法明治三年九月十日以後家祿賞典處分所有スルモノニ對シテ其家祿賞典處分ノ錯誤ガアルノヲ訂正ヲ致シ不足ヲ補フ法律デアラト思フテ居リマス、然ル所ガ政府案ニ復活セラレタイト云フ御希望デアリマシタガ政府案ハ四年七月十四日前各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度トアリマス、サウシテ見ルト三年九月十日以後ト云ヘバ十一月一日デモ十二月一日デモ皆以後デアアル、彼是四年七月十四日マデハ十箇月バカリモアリマスガ其間ノモノデ錯誤ハアツテモ訂正ハセヌ、斯ウ云フコトニナルダラウト思フ、最後ノ制定、最後ニ定メタル制度ト云フナラバ即チ七月十四日少シ前ニ定メタルモノデ最後デアアル、サウスレバ其前ニ錯誤ノアルモノハ一ツモ訂正ヲセヌト云フテ見ルト即チ此五十號ノ法律ハ何ノ役ニモ立タヌヤウニナツテシマフ、即チ三年九月十日以後四年七月十四日マデノ所ノモノニシテ錯誤ガアツタラバ何ニモ訂正ハセヌト云フ政府ノ案ニナリハセヌカト思フ、ソレデス様ナコトヲシテ置ケバ甚ダ憂フルハ此最前ノ九條ヨリモ今度ノ五十號ノ法律ヲ規定シテドウ云フ紛雜ガ起ツテ來ルカモ知レヌ、一體此家祿ノコトニ就イテハ私ハ考モアツテ第九議會デアツタカ意見モ述ベタコトガアリマスガドウモ其五十號ノ法律ヲ出シタ以上ハ仕方ガナイ、ソレデ金額ガ足ラヌト云フ今小澤男爵ニ答ヘラレルニ金額ハ一千万圓デ足ラヌト云フガ、其一千万圓デ足ラヘルヤウニト云フテ法律ヲ出シテ居ル、其法律ニ月ガ十箇月モ缺ケタナラバ構ハヌト云フ斯ウ云フヤウナコトハ甚ダ穩當ナラヌト考ヘマス、ソレハドウ云フ御考デアアルカ尙ホ御説明ヲ承ツテ置キタイ

(政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員松尾臣善君 御答致シマス、此制度ト云フコトヲ少シマダ御了解ニナツテ居ラヌカノヤウニ考ヘマス、明治四年ノ七月十四日ト云フノハ即チ御承知ノ通り廢藩ノ日デゴザイマス、ソレデ廢藩ノ日マデハ各藩ニ於キマシテ藩制第四項ニ據リマシテ此財政上ノコトハ相當ノ處分ヲセヌケレバナラヌト云フコトガゴザイマス、其第四項ノ結果ト致シマシテ、ソレデ廢藩マデノ間ハ各藩デ財政ノ整理ノ結果トシテ改正ヲセヌケレバナラヌコトガゴザイマス、其改正ヲ致シマシタ一番終リノ制度、即チ制度トカ申シマスルノハ何某ニ幾ラ遺ル、何某ニ幾ラ遺ルト云フコトデハゴザイマセズシテ現祿ガ例ヘバ百石取ツテ居ル者ハ此改正ニ於テハ八十石ニスル、五十石取ツテ居ル者ハ四十石ニスルトカ三十石ニスルトカ斯ウ云フ標準ヲズツト拵ヘマシテ即チソレガ祿制ナルモノ、即チ制度ト申シマスルモノハ祿ノ引繼ヲスルト云フノガ祿制ナルモノ、ソレハ各藩デ調査致シマシテサウシテ太政官ニソレヲ出シテ太政官ハ之ヲ是認シテ即チ施行シテ居リマスルノデゴザイマス、其制度ト云フモノハ決シテ今日カラソレヲ動かカスコトノ出來ナイモノト存ジマス、素ヨリ當時ノ太政官ハソレヲ是認シテ施行サレタノデゴザイマスソレデ誤ト云フモノハ何處デアラゾト申シマスルト其祿制ナルモノニ各自ノ祿高ヲ割當テ、サウ云フ例ヘバ元ト百石取ツタ人ハ八十石遺ルトスウガ惡クテ百石或ハ七十石ノ一ツ下ノ制度ニ當ツテ居ルトカ又ハ百石ト云フノガ惡クテ百十石デアツタカラモウ一段上ノ段階ニ上ゲナケレバナラヌ、サウ云フノガ即チ處分デゴザイマス、其制度ニ照シテ處分ノ誤ガアルモノハ正ス、斯ウ云フモノガ五十號ノ法律ノ第一條、即チ本院ニ於キマシテ加ヘラレマシタ此錯誤ト云フコトヲ正ス所ニ當リマス、唯今ノ御問ヒノハ或ハ其制度ト云フモノデ

ナシニ一人々々處分上ノコト、若シヤ御混ジニナツテ御考デアゴザイマセヌカト考ヘマス、其コトヲ一應申上ゲテ置キマス
○男爵渡邊清君 此祿制ノコトノ色ニ御講釋ガアリマシタガ御講釋ヲ聽カイデモ本員ハ略々承知ヲ致シテ居ル、所ガ此二項ニ「政府ノ布告布達其他ノ命令ニ依リ定メタル制度」ニシテモデス、政府ノ命令ニ依ツテ各藩デ定メタル其定ムル所ノ命令ハ御承知ノ通りデアラウト思フ、且ツ明治三年九月十日ハ即チ藩制施行ノ大法令デアアル、即チ布告デアアル、ソレニ依ツテ即チ定メタルモノガ制度デアアル、必ズシモ政府ノ出シテ……出シタ日デ始メテ制度トナツタト云フモノデヤアアルマイ、ソレハ即チ松尾君モ其時分ノコトハ御承知デアラウト思フ、我輩モ其時分ニ大藏省ニ居ッタカラ能ク承知シテ居ル、各藩ニ皆定メテ居ル制度、サウセネバ各藩デ定メテ居ルノハ既ニ藩ニ於テ政府ノ命令ニ依ツテ制度ヲ定メタ、定メテ始メテ其人ニ既得權ヲ與ヘタ、其既得權ヲ巴奪フト云フコトハ出來ヌ、ドウモ私ハ家祿ノコトニ附イテハ段々論モア、テ意見モアツタガモウ既ニ政府デ五十號ノ法律ヲ出シタ以上ハ金ガ足ラヌカラ殺ガニヤアナラヌ、斯ウ云フコトハ甚ダ其意ヲ得ヌト思フカラ御尋ネスルノデ、制定ノ見損ヒト云フコトハゴザイマセヌ

○政府委員(松尾臣善君) ソレデゴザイマスルナラバ尙ホ此施行法ノ一條ノ説明ヲ私ガ申上ゲルノガ居キマセヌノデゴザイマセウ、今御尋ネノ此第一條

ニ中央政府デ處分致シマシタモノヲ出シタノデゴザイマシテ、即チ官、堂上、舊官人又ハ中下大夫以下ノ與力同心ニ至ルマデサウ云フヤウナ中央政府デ直接ニ制度ヲ出シマシタモノヲ此第一項ニ置キマシタノデ、ソレ故ニ命令トゴザイマスノハアノ時分ニハ御承知ノ通り布達デナシニ極メタルモノガゴザイマス例ハ斯ウ云フ祿制ニ或ル所ノ與力同心ハ京都云フ祿制ニスル、コチラノ與力同心ハ斯ウ云フ祿制ニスル、ソレカラ藩ノコトハ第二項ニ持ツテ居リマス、其令達ノデゴザイマス、ソレカラ藩ノ第二項ハ第二項ニ持ツテ居リマス、ソレハ全ク前ニモツト詳シク申上ゲタラ宜カッタラウガ申上ゲ落シタノデアリマスカラ其邊ハ御了承ヲ願ヒマス、ソレデモウ一ツハ公債額ガ多イカラソレデスウ云フコトヲスルト仰セラレマシタガサウ云フヤウナコトデハ決シテゴザイマセヌ、ソレハ此五十號ノ一條ノ解釋カラ起ツテ參リマスノデゴザイマスカラ其公債額ガ多イカラソレデスウ云フコトヲスルト仰セラレマシタガサウ云フヤウナコトデハ決シタ通ニ當時ノコトハ能ク御承知ノコトデゴザイマセウ、私共モ其時分ノコトヲ略々承知致シテ居リマス、此各藩ニ於キマシテ改正ヲ致シマシテ太政官ヘ届出テ、太政官ガソレデ是認シテ而シテ施行シテ居ルコトハ能ク御存ジノコトハ考ヘマス、其制度ヲ今日ヨリ打崩スト云フコトハ出來ヌ、又五十號ノ法律ハ誤謬錯誤トゴザイマスガソレハ錯誤デモ何デモナイ正當ノ制度ト認メテ居リマスカラ、故ニ前申シマシタ通本案ノ一條ト云フモノヲ復活セラレンコトヲ御願シタ譯デゴザイマス
○男爵渡邊清君 モウ宜シウゴザイマス
○副議長(侯爵皇田長成君) 外ニ御發議ガゴザイマセヌバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○松永安彦君 本案委員ノ選舉ハ議長へ御委託致シタウゴザイマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○副議長(侯爵黒田長成君) 議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト述フル者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバサウ決シマス、噸稅法案、政府提出、衆議院送付、第二讀會ノ續、特別委員長報告

(伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル)

○伯爵吉井幸藏君 噸稅法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此法案ハ過日第二讀會ニ入リマシタ節從來ノ委員ニ二名ヲ加ヘラレマシテ其委員ニ再付託ニナツタ案デゴザイマス、其増加サレマシタ委員會ニ於キマシテ十分ニ審議致シマシタ結果矢張此前ノ特別委員會デ決議致シマシタ通リ修正案デ差支ナイト云フコトニナリマシテ再ビ同シ修正ノモノガ御手元ニ居リマスルヤウナ次第デゴザイマス、デ別ニ新ニ委員ガ殖エマシテモ別ニ是ト云フ新シイ御議論モ出マセヌヤウデゴザイマシタガ矢張此數港ニ於テ取ルト云フコトハイケナイ、ドウシテモ各國カラ直航致シマシタ其港ニ於テ一度取レバ其港カラ内地ノ他ノ港ニ移ルノハモウ取ラヌト云フヤウナ此組織ハサウ云フコトニナリマシテ其他ハ矢張從前ノ委員會デ修正致シマシタ通リ修正ニナリマシタ、ドウゾ此修正通御賛成ヲ願ヒマシテ速ニ通過センコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別段御質問等ガゴザイマセネバ是ヨリ第二讀會ノ續キヲ開キマス、先ヅ第一條ヲ問題ニ供シマス、朗讀ヲ致サセマス

(淺田書記官朗讀)

第一條 外國貿易ノ爲外國ヨリ帝國ニ來リタル内外國船舶ニハ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付五錢ノ噸稅ヲ課シ噸稅ノ經ルモノハ最初ノ港ニ於テ十錢ヲ課ス但シ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付三十錢ノ一時ニ納付スルモノハ滿一箇年間何レノ港ニ於テモ噸稅ヲ納ムルヲ要セス
帝國ノ噸度法ヲ異ニスル國ノ船舶ノ登簿噸數ハ帝國ニ於テ定ムル噸度法ニ依リ換算ス

(特別委員修正)

第一條 外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶ニシテ外國ヨリ帝國開港ニ入港シタルトキハ最初ノ港ニ於テ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付十錢ノ噸稅ヲ課ス但シ毎年ノ納稅額ハ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付三十錢ヲ超エケルモノトス
帝國ノ噸度法ヲ異ニスル國ノ船舶ノ登簿噸數ハ帝國ニ於テ定ムル噸度法ニ依リ換算ス

第三條 海難其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲帝國ノ開港ニ寄港シタルトキハ第三條ノ入港ト看做サス但シ本條ノ事故ニ由ルニ非シテ貨物ノ積卸ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

○伯爵吉井幸藏君 今朗讀ニナリマシタノハ始ノハ政府案ノヤウデゴザイマシタガ衆議院デ修正ニナリマシタノガ本院ノ原案デハアリマセヌカ
○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今朗讀致シマシタノハ矢張り衆議院ノ修正案ヲ朗讀致サセマシタノデゴザイマス

○伯爵吉井幸藏君 サウデアリマシタカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 別段御發議ガゴザイマセネバ先ヅ特別委員ノ報告ニ附イテ決ヲ採リマス

○富田鐵之助君 此特別委員ノ修正ニ附イテハ政府ハ是ニ御同意ナノデゴザイマス、如何デゴザイマス、ソコヲ伺ヒマス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 富田君ニ御答シマスルガ同意ハシマセヌ、政府ハ原案ヲ主持シテ居リマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 特別委員ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザイマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○富田鐵之助君 衆議院ノ修正案ガ……
可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 起立者ガゴザイマセヌカラ第一條ハ削除ト云フ結果ニナリマス

○子爵谷干城君 今ノハドウナリマス、カ
○副議長(侯爵黒田長成君) ドチラモ少數デゴザイマス、カ
一條ダケハ詔ヲ削除ニナリマス

○子爵谷干城君 一條ガ削除ニナツテハ此案ガ成立タヌデセウ
○伯爵徳川達孝君 今ノハ曖昧デアリマシタカラモウ少シ明瞭ニ御宣告ニナリマセヌト起立ニ迷フヤウデゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 更ニ申シマスガ唯今ノハ特別委員ノ修正ニ附イテ先ニ決ヲ採ツタノデゴザイマス、所ガツレガ少數デ成立チマセヌ、ツレカラ原案即チ衆議院ノ送付案是ガ原案デゴザイマス、政府案ト云フモノハナイノデゴザイマス

○富田鐵之助君 衆議院ノ修正案ニハ政府ハ御同意ニナツテ居リマス、カ如何ト云フコトヲ承ツテ置キタウゴザイマス

○政府委員(目賀田種太郎君) 衆議院ノ修正ニハ同意シマセヌ、政府ハ政府ノ出シタ案ヲ主張シテ居リマス

○子爵内藤政共君 今ノハドウモ少シ御宣告ガ皆分リ兼ネテ、ドウモ妙ナ結果ニナリマシタ、ドウカモウ一應決ヲ御採直シニナルコトヲ希望致シマス

(賛成ト呼フ者數名アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) ツレデハモウ一遍決ヲ採リマスガ、其前ニ御注意マデニ申シテ置キマス、若シ特別委員ノ修正モ衆議院ノ修正案モドチラモ唯今ノヤウニ否決ニナリマシタ場合ニハ政府案ノヤウナ修正說ヲドナタカマ決ヲ採ル前ニ御出シニナリマセヌトイケマセヌ、決ヲ採ツテカラデハイケマセヌ

○森山茂君 唯今ハイケマセヌカ
○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今ナラバ宜シウゴザイマス

○森山茂君 ツレデハ政府案ノ通ニ復活スル修正ヲ出シマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒタイ

○小原重哉君 賛成

○男爵渡邊清君 贊成

○子爵內藤政共君 サウ致シマス ト委員ノ修正ニ附イデモ、モウ一遍決ヲ御採直シニナルノデスカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 左様デゴザイマス

○南郷茂光君 政府案復活ニ贊成

○富田鐵之助君 贊成

○松岡康毅君 贊成

○村田保君 贊成

○子爵青木信光君 贊成

○子爵黒田和志君 贊成

○男爵玉松眞幸君 贊成

○子爵内藤政共君 政府案ニ復活ノ勸議ハ成立チマシタカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 未ダ成立チマセヌ

○村田保君 本員ハ政府案ガ宜イト思ヒマス、併シ若シ第一條ガ政府案ニ復活ニナリマシテ跡ガ委員ノ修正ニナリマス ト餘程妙ナモノニナラウト思ヒマス

○モゴザイマセヌデ此儘ダト餘程妙ナモノニナリマス ト餘程不都合ナモノニナラウト思ヒマス

○男爵渡邊清君 今村田君ノ御論ガアリマシタガ此第一條ガ政府案ニ復活ニナリマス レバ他モ無論復活シナケレバナラヌ道理デアリマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 未ダ定規ノ贊成ガ足リマセヌ

○宮島誠一郎君 贊成

○田中源太郎君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 定規ノ贊成ガゴザイマシタ

○伯爵吉井幸藏君 政府案復活ノ勸議ガ成立チマシタラ私ハ……

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○伯爵吉井幸藏君 演壇ニ登ル

○伯爵吉井幸藏君 諸君、本員ハ此噸稅法案ヲ政府案通ニ復活スルト云フコトニハ反對ヲ致スノデゴザイマス、先日初ニ本員ガ此特別委員ノ委員長ト致シマシテ報告致シマシタトキ、ウレカラ又其時ニ政府委員カラ反對ノ御意見ガアリマシタ、ウレカラ第一讀會ノ續ニ於キマシテ水野君カラノ御意見モ出マシタ、ウレハ政府委員ノ言ハレル所モ水野君ノ言ハレル所モ實ニ根據ノナ

イ論デアアルノデアリマス、第一政府委員ガ其トキニ反對セラレタノハ此トキ

ノ委員ノ修正デ委員長ガ説明シタトキニ古イ船ノコトヲ言ッテ此法律ハ内

外國ノ船舶ノコトヲ言フニ内國ノモノノコトヲ考ヘテ出來ルコトデアリナリトス

ウ云フコトヲ言ハレタ、ウレハ勿論ノコトデアリマシタ今度條約ガ改正ニ

ナリマシテ實施サレルニ附イテ是マデ出來ナカッタガ是カラ内外國船舶ニ同

ノ法律ヲ以テ同一ノ稅ヲ課セルト云フコトハ分ッテ居ルノデアリマス、ウレデ

内國ノ船舶ガ利益ヲ害セザル程度ニ於テ稅ヲ課スルヤウニシテ置キマス レバ外

國ノ船モ共同ニ恩惠ハ被ルノデアアル、決シテ内國ノ船ノミヲ保護スルコト

ハナイノデアリマス、ウレカラ委員會ノ修正通入港ノトキダケ此稅ヲ課ケレ

バ噸稅ノ性質ヲ失フト斯ウ言ハレマシタ、決シテ左様ナコトハナイノデアリ

マス、外國ノ例ヲ段々調ベテ見ルト凡ソ歐米ノ二十箇國位ノ所ヲ調ベテ見

ト其中ニ七箇國ハ噸稅ハ更ニナイノデアリマス、ウレデアッタ所ハ段々廢シ

テ參リマシテ今歐米デハ此稅ハ善クナイ稅デアアル惡稅デアルト云フ說ガ段々

殖エテ來テ、是マデアッタ所モ段々廢シテ來ル傾デアリマス、又アル所モ段

段輕クシテ來テ、例ヘバ空船デアルモノニハ稅ヲ課ケナイ國ガ澤山アリマス、

ウレカラ矢張外國カラ這入ッテ參ッテ噸稅ヲ課スル國デモ、何クニ於テモ數

港ニ於テ取ルト云フ例ヲ見出サヌノデアアル、サウ云フ國ハドコニモナイノデ

アル、政府カラ差出サレタ參考書ニモナシ本員共ガ調ベタノニモサウ云フ國

ハナイ、世界ニ數港カラ來ルノ取ル國ハナイノデアリマス、ウレデア入港ノ

トキニ取ルト云フノ噸稅ノ性質ヲ失ッタモノデ、入港ノトキニ取リ出ルト

キモ取ル、ウレモ噸稅デアアル、併ナガラ入港ノトキ政府ガ他ノコトニ附イテ

大變手數ガ煩勞デアルト言ハレタガ其煩勞ヲ省ク方ガ宜イ、決シテ噸稅ノ性

質ヲ失ハナイ、ウレデ今申上デマスヤウナ次第デ各國ニ例ノ組織デアリ

マス、條約改正ガ出來テ初テ内外國船舶ニ對シテ稅ヲ掛ケル權利ヲ得タカラ

ト言ッテ他ニ例ノ組織ヲ以テ是マデ手數料ヲ取ッテ居ルモノニ手數料同

様ニ數十倍ノ稅ヲ各港ニ於テ取ルト云フコトニナル、ウレモ性質ガ變ルカラ

構ハヌト云フ例ハ他ニナイノデアリマス、ウレデ今内外國ノ船舶ニ對シテ同

テ斯ウ云フ例ハ他ニナイノデアリマス、ウレデ今内外國ノ船舶ニ對シテ同

ノ法律ヲ以テ同一ノ稅額ヲ課スル權利ヲ得タガタメニ斯様ナ不都合ナ稅ヲ掛

ケル組織ヲ以テヤルノ云フヤウナコトニ致シマシタナラ却ッテ外國カラ笑

ハレルヤウナ次第ニナル、是ハ組織ニ於テモ間違ッテ居リマスカラ、ドウゾ

本案ニ復活スルコトハ御贊成ニナラヌヤウニシテ、假令率ヲ上ゲテモ組織ダ

ケハ特別委員會デ修正致シマシタ通ニナサレヌト必ズ外國カラ笑ハレルヤウ

ナ次第ニナリマスカラ、ドウゾ……

○菊池大麓君 チョット吉井伯爵ニ質問致シタウゴザイマスガサウスルト吉

井伯爵ノ御意見ハドウ云フ風ニナサラウト云フ御意見デアリマスガ、サウス

ルト一條ガ消エマシタカラシテ此法案ヲ全廢シテシマフト云フ御考デゴザイ

マスガ、或ハ一條ナシニ本案ヲ通過スルヤウニシタイト云フ御意見デアリマ

スカ、政府案ニ御反對ノ點ハ分リマシタガドウ云フ風ニ處分スルト云フ御希

望ノ點ヲ御述ベニナルヤウニ願ヒタイ、唯今率ヲ特別委員ノ案ノヤウニシタ

イト御話デアリマシタガサウ云フ說ヲ御提出ニナルノデアリマスガ、何トカ

ナラナケレバ今ノ處デハ十分ニ方法ガ分リ兼ネマス

○伯爵吉井幸藏君 本員ノハ矢張此特別委員會ノ修正通ニ第一條ハ致シテ置

キタイトスウ云フノデアリマス

○菊池大麓君 特別委員ノ修正案ハ既ニ消エテ居リマスガ吉井伯爵ガ幾ラ

希望サレタモ出來ナイ相談デアリマスサカ出來ル方ノ御希望ヲ伺ヒタイ

○副議長(侯爵黑田長成君) 議長ヨリ御答致シマセウ、先刻採決ノ際ニハ諸

君ノ中ニ政府案即チ政府カラ一番初メ衆議院ニ提出ニナリマシタ政府ノ案デ

アリマス、ウレガ矢張議場ノ問題ニナッテ原案デアルト御思ニナッテ居ッタ

御方モアッタラウト思ヒマス、ウレガタメニ唯今ノヤウナコトヲ生シタノデ

アラウト思ヒマスガ、衆議院ノ最初提出ニナリマシタ政府ノ原案ト云フモノ

ハ衆議院デ修正ニナリマシテ、サウシテ貴族院ニ送付ニナリマシタカラ初メ

ノ政府案ト云フモノハ此議場ニハナイノデアリマス、ウレデ先刻森山君カラ

バ噸稅ノ性質ヲ失フト斯ウ言ハレマシタ、決シテ左様ナコトハナイノデアリ

マス、外國ノ例ヲ段々調ベテ見ルト凡ソ歐米ノ二十箇國位ノ所ヲ調ベテ見

ト其中ニ七箇國ハ噸稅ハ更ニナイノデアリマス、ウレデアッタ所ハ段々廢シ

テ參リマシテ今歐米デハ此稅ハ善クナイ稅デアアル惡稅デアルト云フ說ガ段々

殖エテ來テ、是マデアッタ所モ段々廢シテ來ル傾デアリマス、又アル所モ段

段輕クシテ來テ、例ヘバ空船デアルモノニハ稅ヲ課ケナイ國ガ澤山アリマス、

ウレカラ矢張外國カラ這入ッテ參ッテ噸稅ヲ課スル國デモ、何クニ於テモ數

港ニ於テ取ルト云フ例ヲ見出サヌノデアアル、サウ云フ國ハドコニモナイノデ

アル、政府カラ差出サレタ參考書ニモナシ本員共ガ調ベタノニモサウ云フ國

ハナイ、世界ニ數港カラ來ルノ取ル國ハナイノデアリマス、ウレデア入港ノ

トキニ取ルト云フノ噸稅ノ性質ヲ失ッタモノデ、入港ノトキニ取リ出ルト

キモ取ル、ウレモ噸稅デアアル、併ナガラ入港ノトキ政府ガ他ノコトニ附イテ

大變手數ガ煩勞デアルト言ハレタガ其煩勞ヲ省ク方ガ宜イ、決シテ噸稅ノ性

質ヲ失ハナイ、ウレデ今申上デマスヤウナ次第デ各國ニ例ノ組織デアリ

マス、條約改正ガ出來テ初テ内外國船舶ニ對シテ稅ヲ掛ケル權利ヲ得タカラ

○菊池大麓君 唯今ノ御宣告デアリマスルガ既ニ第一條ニ附イテ特別委員ノ修正案ノ決ヲ御採リニナツテツレハ少數ト云フコトニ御宣告ニナツタ、ツレカラ又原案ニ附イテノ決ヲ御採リニナツテツレモ少數ト云フコトニ御宣告ニナツタノデアリマスガ、サウスルト其御宣告ハ御取消ニナルノデアリマスカ、一旦御宣告ニナツタコトヲ取消スコトハ出來ナカラウト思ヒマスガ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 先刻諸君ノ中ニ誤解ガアッタト思ヒマスノデ更ニ採決ヲ致サウト申シタノデゴザイマスガ若シ採決ヲ致サヌ方ガ宜シイト云フコトニナルト此一條ト云フモノハナクナツテシマヒマス

○菊池大麓君 其一條ノ御宣告ハ御取消ニナツタノデアリマスカ

○副議長(侯爵黒田長成君) サウデゴザイマス

○政府委員(自賀田種太郎君) 唯今吉井伯爵ヨリ段々御論ガ出マシタガ吉井

伯爵ノ御論ハ政府ノ提出シタル噸稅法案トハ異ナル所ノ御論デアリマスカラ
 此處ニハ適用ガ出來ナイ、政府ノ提出シタル噸稅法案ハ所謂噸稅モツレカラ燈
 明臺稅モ帝國ノ諸港ニ於テ與フル所ノ利益ノ保障ノタメニ一ノ噸稅ヲ課スル
 ト云フ總テヲ包含シタル稅デアルノデ、ツレ故ニ政府提出案ノ如ク每港ニ附
 イテ取ルト斯ウ云フノデ、吉井伯爵ノハ或ハ一種ノ「トンネーヂ」ト云フヤウ
 ナコトヲ御掲ゲニナツテ居ル、成ル程吉井伯爵ニ上ゲマシタ政府ノ參考書ニモ
 サウナツテ居リマスガ、コチヲハ仕組ガ違ヒマスカラサウ云フ御論ハ適用
 セヌト思ヒマス、ツレデ此案ハ免ニ角政府ノ提出シタル案ノ如クデナケレバ
 却ッテ一種ノ珍ラシイモノニナツテ今ノ一港ニ附イテノミ取ル、ツレカラ
 又一年ニ三十錢ヲ超エザルモノトストシテ其三十錢ニナルヤ否ヤハ一々船長
 カラ受取杯ヲ出サセテサウシテ調べ、モウ三十錢ニナツタ、イヤマダナラ
 ナイトカ云フヤウナ煩雜ナル手數ノ調ヲシヤウト云フ御仕組ニナルノデア
 カラサウ云フ法律ハ却ッテ外國ヨリ批評ヲ受ケルト思フ、故ニ政府ハ斷ジテ
 反對ヲ致シテ置キマス、此段ヲ……

○松岡康毅君　チヨット政府委員ニ御尋シマスガ先刻吉井伯爵ノ言ハレルニ
 ハ噸稅ト云フモノヲ一國內ノ數箇所ノ港ニ於テ取ルノハ西洋各國ニモナイコ
 トデアルト云フヤウニ承リマシタガ政府ノ本案ヲ出サレタ主意ニ於テ定メテ
 各國ノ實例モ皆參照セラレタコトデアリマセウガ他ノ國ニ於テモ各港毎ニ取
 ルト云フ實例ハ確ニアルヤ否ヤト云フコトヲ御明言ヲ請ヒタイ

○政府委員(目賀田種太郎君)　松岡君ニ御答申シマス矢張各港ニ於テ取ッテ

○子爵内藤政共君 モウ此案ニ附イテハ度々特別委員デ調ベマシタコトデゴザイマシテ、又諸君モ十分御調ベニナリマシタト存ジマスカラ極簡單ニ述ベマス、今其定見ヲ述ベマス前ニ當リマシテ政府委員ノ今ノ答辯ニ對シテ私ハ辯駁ヲシナケレバナラヌト考ヘル、政府委員ガ今松岡君ノ御質問ニ對シテ西洋各國ニ其例ハアリマスト答ヘラレタ、是ハ嘘デゴザイマス、全ク嘘デゴザイマス、決シテサウ云フコトハナイノデアリマス、英國ダケハサウデゴザイマス、是ハ英國ハナゼカト云フノ一市或ハ一ノ港デ以テ市ガ其港ヲ拵ヘテ居ルト云フヤウニ經濟ガ別ニナツテ居ル故ニ、其經濟ノ別ニナツテ居ルモノヲ一緒ニ取ルト云フコトハ出來ナイ、故ニ英國ダケハサウナツテ居リマス、併シ他ノ西洋各國ニ在ル杯ト云フコトハ全ク嘘デゴザイマス、是ハドウゾ斯ウ云フ宜イ加減ナ調ベドウゾ御信用ニナラヌヤウニシタイモノデアル、ソレデ若シ其調ベガ宜イ加減ダト本員ガ申シタノヲサウデナイト言ハレルナラバ政府委員ハ其實例ヲ舉ゲラレルガ宜イガ、既ニ實例モ舉ゲラレナイ、是ハ委員會ニ於テモ同様デアリマシタ、政府カラ是ガ參考書デアルト云フ所ノ三四箇國ノ例ヲ舉ゲタ書類ガ委員ニモ配付ニナリマシタ、ソレヲ見マスルケレドモ矢張一港デ取ルノミデ各港デ取ルト云フ例ハ一モナカッタノデアル、ソレ故ニ委員會ニ於テモ種々アト二十箇國程歐米又南亞米利加アタリウレカラ東洋諸國ノマデモ調ベマシタケレドモ一トシテ英吉利ヲ取除ケテノ外ハナイノデアル、故ニ委員會ニ於テモ政府ハ前會本議事ノ時分ニ各國ニ例ガアルト言ハレタガ如何ナル例ガアルカ、其例ヲ舉ゲテ御示ヲ願ヒタイト言ヒマシタ處ガ其例ハ多分ナイノデアリマセウ、其答ハ一言モナカッタノデアリマス、是ハ委員會ノ速記録ヲ御覽ニナリマシタラ分リマス、此位デアリマスカラモウ是ハ西洋各國ニ於テ例ノアルト云フコトハ御信用ノナイヤウニ願ヒタイ、ソレカラ此政府ハ今此日本ニ於テハ噸稅ト云フモノハ是ハ噸稅デハナイ、噸稅ノミデバナインダ、燈臺ノ稅モアリ色々ナモノヲ含シテ居ルカラ各港デ取ラナケレバナラヌト云フコトノヤウニ言ハレマシタケレドモ性質ガ違ツテ居ルト私ハ考ヘル、燈明臺ノ稅モ其中ニ籠ツテ居ルト云フコトヲ重モニ言ハレマシタガ燈明臺ト雖モ此一會社ノ持ツテ居ルト云フ譯デハナイ又燈明臺ト云フモノハ其港ニハアルト云フモノデナク道々ニ在ルモノデアル、是モ矢張政府ガ持ツテ居ル所ノモノデアレバ各港デ取ツテモ一港デ取ツテモ少シモ差支ナイコトデアラウト思フ、是ハドウシテモ政府ノ論據トシテ港デハ噸稅ヲ取ラナケレバナラヌト云フ論旨ニハナリマスマイト考ヘマスル、例令港ヲ拵ヘタ入費デアリマセウガ燈臺ヲ拵ヘタ入費デアリマセウガ噸稅トシテ取ルトキニナツテハ皆出所ハ固ヨリ日本政府ノ出シタ所ノモノデアアルカラソレニ對シテ稅ヲ取ルモノデアアルカラ各港デ取ラナクテモ始テ外國カラ直航シテ來タ所ノ港ニ於テ取ルト云フコトニ於テ少シモ差支ナイコトデアアラウト木員ハ考ヘル、ソレデマダ委員長ガ述べラレマシタ所ニ附キマシテア委員會ノ時ニ論前九名ノ委員ノ時ニ出マシタ論ト此間二名加ツテ委員會ヲ開キマシタ時ニ論ニ於テハ別段違ツタコトハナイト云フ御報告デゴザイマシタガ本員モソナニ違ツタコトハナイト考ヘマシタガ其著シク違ツタ所ノ論ト云フモノハ全體噸稅ト云フモノハ各港ニ於テ掛ルベキ性質ノモノデナイト云フモノハ一ノ船ニ附イテ、何噸ノ船ニ附イテ幾ラ掛ケルト云フモノデス、即チ一噸毎ニ掛ツテ居ル、船ノ大キサニ附イテ掛ケルモノデアアルカラシテ外國カラ荷物其外ヲ積ンデ來タ所ノ例ヘバ長崎ニ第一ニ著スルト長崎デ皆其荷ヲ揚ゲテシマツテ

長崎カラ今度神戸ニ這入ル時分ニハ新ノ荷ヲ積シテ這入リ神戸ニ來タナラバ
スツカリ荷ヲ揚ゲテシマツテ東京或ハ横濱ニ來ル荷物ヲ積シテ來ル性質ノモ
ノデハ決シテナイ、總テ先ヅ重ニ外國カラ歐羅巴其外カラ來タ所ノ船ハ長崎
ニ著スルモノデアレバ其持テ來タ所ノ荷ノ幾分ヲ長崎デ揚ゲルノデア
又其幾分ヲ神戸デ揚ゲル、又後トノ殘タ所ノモノハ横濱デ揚ゲルト云フ
譯ニナルカラ稅ノ性質カラ論ジテ見テモソレヲ各港ニ於テ噸稅ヲ取ルト云フ
コトニナルト云フト一ツノモノヲ幾度モ稅ヲ掛ケルト云フコトニナルカラド
ウシテモ一港デ掛ルト云フ性質ノモノデアラウト云フ論モアリシタ、ソレ
デ既ニ吉井伯爵ガ述ベラレタトキニハ前回ニ吉井伯爵ガ演說ヲサレタ時分ニ
政府委員カラソレヲ辯駁サレタモノ日本ノ古イ小サイ船ノコトバカリ考ヘテ
外國ノ大キイ船ノコトヲ考ヘテ居ラヌト云フ御話デアッタ、決シテウナナ譯
ノモノデアナイ、唯噸稅ノタメニ迷惑ヲスル所ノモノハ無論アルト、ナイナ
ハ噸稅ガ掛ルノデアレバドノ船ニシテ迷惑ヲスル所ノモノハ同ジデア
ラ其迷惑ヲスル所ハドウデアラカト云フト外國船ハ重ニ大キイ日本船ハ重ニ
小サイト云フ所デアリマスカラシテ日本人ノ船主ノ方ガ迷惑ヲ餘計蒙ルト云
フコトデアッタ矢張外國船ハ迷惑ガナイト云フ理由ハ決シテナイ、故ニド
ウアッテモ外國船ニモ成ルタケ噸稅其外ノ不便ヲ感ズル所ノモノハ成ルタケ少
クシテ各港ニ成ルタケ外國船ノ出入ヲ餘計ニスルヤウニ導クノガ是ガ正當
道理デアラウト云フソレニ從テ各港デ噸稅ヲ取ツテサウシテ内外國ノ船
トモ同一ノ港ニ這入ルコトハ成ルタケ減ズル方ノコトヲスルト云フノハ極
クナイコトデアラウト考ヘル、ソレカラマダ政府委員ノ言ハレル所ニハ最モ
其一港ニ於テ取ルト云フコトニナリマスト云フト非常ニ手數アル、受取
出スノガ面倒デアアル、受取ヲ出スノハ非常ニ嫌ガルト云フヤウナコトヲ
ニ言ハレルノデアリマス、是ハ誠ニツマラヌコトデアラウト思フ、成ル程
マデモ斯ウ云フ例ガアル稅關デ以テ手數料ノ受取ヲヤルトツンナモノハイ
ヌト云フタカ何ト云フツマラヌ例ヲ引イテ言ハレルガ、ソレハ無論ノ話
デアアル稅關ノ手數料ノ如キモノハ一遍ギリ拂ッテ再ビ役ニ立タヌモノデア
カラソナ受取ハ何モナラヌト云フコトハ是ハ當リ前ノ話デアラウト思フ、
併ナガラ一遍受取ヲヤツテ其受取ヲナクシタ時分ハ又再ビ取ラレルモノデ
アルゾ即チ之ヲ御前持ッテ來ナケレバ再ビ拂ハナケレバナラヌト云フコト
言ハレタ以上ハ其受取ヲナクシテ仕舞フト云フコトハ決シテナカラウト思
フ、若シ又ナクシタ者ガアツタ時分ニハ再ビ御取リニナツタモノ少シモ差支ナ
イ話デアラウト思フ、デアアルカラシテ乗組員ノ方或ハ船長ニ對シテ船長ガ面
倒デアラウト受取ノ小サナモノヲ持ッテ行クノハ面倒デアラウト云フテソレ
程マデニ船長ノ手數ヲ省イテヤラウト云フコトマデヲ御考ニナル程ニモ及ビ
マスマイト本員ハ考ヘル、又政府委員ハ非常ニ何ダカ手數ナクコトヲ言フガ無論
政府デ取ルモノデアアルカラ其位ノ少シ位ノコトヲスルノハ厭フ話デアアル
ト考ヘマス、是マデモ政府ガ言ハレル所ニ依ル儘噸稅ヲ取ルニ非常ニ手
數ガイト云フガ、他ノ稅ヲ取ル時分ニハドレ程ノ手數ヲシテ居ラル、カ、
モット餘計ノ手數ヲシテ居ラル、ダラウト思フノデアッタ此噸稅ノミニ至
テサウ手數ヲ省ク是ハ頗多デアルトカ何ト云フサウ云フコトヲ論據トシテ
マルデ惡ルク言ヘバ寢トツテ稅ヲ取ラウト云フヤウナ考デアアル、ソナコト
ハ出來ヌ話デアアル、此等ハ少モ構フコトハナイ話デアラウト思フ、サウ致セバ
ドウアッテモ噸稅ト云フ性質カラ論ジ又各國ノ例ヲ見デモドウシテモ此委員

ノ修正通ニナラズバナラヌモノダラウト考ヘマス、又ソレニ反對シテ政府委
員ノ言ハレル所ノ不都合デアルトカ云フヤウナコトハ如何ニモ是ハ譯ノナイ
話デアッテ決シテ是ハ意トスルコトノナイノデアラウト考ヘマス、是非共
此特別委員ノ修正通ニ可決セラレンコトヲ希望シマス
○松岡康毅君 ちヨット御尋シマスガ本員ガ政府委員ニ質問ヲシマシタ
西洋ノ各國ノ中ニハ港毎ニ取ル所モ澤山アルヤウニ政府委員カラ答ヘラレ
シタ、然ルニ内藤子爵ハソレハ噸稅アルト云フ唯今御辯駁デゴザイマシタガ
尙ホ承リマス所ニ據ルト佛蘭西ノ如キハ各港デ取ルノモノナラズ港デ取ル金高
モ一樣ニナイヤウニナツテ居ルト云フコトヲ聞キマシタガソレモ噸稅デゴザイ
マセウカ、決シテ外ニハナイノデゴザイマセウカ
○子爵内藤政共君 佛蘭西ノハ私モ今此處ニ持ッテ居リマセヌガ色々面倒ナ
コトニナツテ居リマスカラシテ十分ナ御答ハ今コ、ニ出來兼ネマスルガ佛蘭
西ノハ港ニ於テ取ル所ノ噸稅ハ何處ノ國カラ來ル船ハ一回取レバ後ハ佛蘭
西中何レノ港ニ於テモ之ヲ免除スルト云フコトニナツテ居リマスノデ、矢張
各港ニ於テ取ルト云フコトハアリマセヌ、併シ其精シイモノヲ御覽ニナリ
クバ其精シイモノハ委員ノ方ヘ政府カラ配布サレタモノガアリマスガ、ソレ
ヲ御覽ニナルト分リマス、其外ハ今チヨット申上兼マスルガ英吉利ハ無論
先刻申上ゲタ通各港デ取ツテ居リマス、其他ノ國デハ政府委員ハ澤山アル外
國ハ大抵各國皆各港デ取ツテ居ルマスト云フコトヲ言ハレタガ我々ハドウモ
其例ヲ見出スコトガ出來マセヌ、故ニ委員會ニ於テモ其コトヲ政府委員ニ申
セヌデシタカラ定ラナイコト、思ヒマス
(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(目賀田種太郎君) 内藤子爵ハ少シ失禮ナガラ誤解ヲサレテ居
ル、成ル程チヨット誤解ニ導クヤウナ參考書ヲ上ゲタノガ惡ルカッタノデ參
考書ニ斯ウ云フコトガアルノデアリマス、歐羅巴ノ各國ノ中ニ佛蘭西ノ一港ニ
於テ噸稅或ハ港稅ヲ納メタモノハ或ル國ニ於テハ免除シタリ或ル國ニ於テハ
稅ヲ輕クシテヤルト云フコトガアル、其理由ハ私モ未ダ詳ニスル暇ガアリマ
セヌデシタガ蓋シ佛蘭西カラ來ル船ノ利益ヲ圖ツタメニ佛蘭西ノ一港ニ於
テ噸稅シタモノニ對シテハ免除スルト云フヤウナコトヲ往々歐羅巴ノ中ノ噸
稅法ニ書イテアル、ソレヲ指シテ直ニ一港デ納メレバ宜イト斯ウ御覽ニナツ
ラウト思ヒマス、私ハ寧ろ内藤子爵ノ言ハル、ヤウニ一港ニ於テ納メルト云
フコトノ例ヲ見ナイノデアリマス、例ヘバ彼ノ馬耳塞デモ取リボルドーデモ
取ルガ違ッテ居ル、ソレカラブレールメント漢堡モ矢張違ッテ噸稅ヲ課シテ居
ル、ソレカラ白耳義モ矢張サウデス、頓ト内藤子爵ノ仰シヤルヤウナ例ガナ
イ、成ル程參考書ニハ佛蘭西ノ一港ニ於テ噸稅シタルモノハ免除スルト云フ
ヤウナコトガアルカラ蓋シ之ヲ御持出シニナツタト思ヒマス、ソコデ是ハド
ウモ參考書ノ論見タヤウニナリマスガ私ハ此處ニ於テ此紫刷ノ辯明ヲ致シマ
スルノハ甚ダ不便デアアルカラ避ケマスルガ、元ト自體其港々々ノ利益ニ對ス
ル報酬ヲ拂ハシムルモノデアリマスカラ、佛蘭西ノ如キハ無論サウデアアルガ
其他ドウモ私ハ一港ニ於テ取ルト云フコトノ例ヲ見ナイ、又一港ニ於テ取
ト云フコトハ内藤子爵モ段々御發議デアリマシタガ是ハ主トシテ社外船ノコ
トニ就イテ段々御考ガアッタノデ是ハ私ハ新例デアラウト思ヒマス

○菊池大蔵君 本員ハ此際先決問題トシテ一ノ動議ヲ提出シマス、此噸税法ノ第一條ニ附キマシテハ大分議論ガアリマシテ既ニ今日ノ所モ變ナ所ニ妙ナ成行ニナッタ次第デアルト考ヘマスガ尙ホ是ハ更ニ委員付託ニ致シタイト云フ動議ヲ提出致シマス、サモナイトキニハ決議ノ上ニ於テ或ハ面白カラザル結果ヲ得ル虞ガアリマスカラ更ニ委員九名ヲ選ンデ付託スルコトニシテ其選定ハ議長ニ委託スルト云フコトニシテ新シク委員ヲ選ンデソレニ調査ヲ付託スルト云フ動議ヲ提出致シマス

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵西五辻文仲君 賛成

○山田卓介君 賛成

○田中源太郎君 賛成

○小幡篤次郎君 賛成

○富田鐵之助君 賛成

○其他「賛成」ト呼フ者多シ

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今ノ菊池君ノ動議ハ先決問題デアリマス、ソレデニ附イテ決ヲ採リマス、菊池君ノ動議ハ更ニ委員九名ヲ設ケテ審査セシメルト云フノデ其選定方ハ議長ニ委託スルト云フ動議デアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

〔多數デアリマス〕ト呼フ者アリ「少數」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 起立ガ不明デアリマスカラ更ニ反對諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 此方ガ多數デアリマスカラ菊池君ノ動議ハ消滅致シマシタ

〔松岡康毅君演壇ニ登ル〕

○松岡康毅君 私ハ政府案復活ニ賛成ノ一人デゴザイマスガ此案ニ附キマシテハ再應委員付託ニナリマシタシ又今日ノ議事ニ運ビマシタ所デ色々御議論モ出マシタル殊ニ歐羅巴ノ所々ニ成立テ居ル事柄ニ就イテモ有ル無イ或ハ嘘ダ實ダト云フヤウナコトニ至リマシタ中ニ面倒ナコトニ立至ッテ居リマスルガ抑、本員ノ考ヘル所デハ此噸税法ト云フモノハ固ヨリ收稅ヲスルト云フコトノ目的ニ出デ、居ルト申スコトハ是ハ申スマデモナイコトデアリマス、併ナガラ唯一ニ收稅ト云フノミニハ止ラナイ此日本ノ今日制定スル噸税法ニ於キマシテハ右ノ利益ヲ收ムルト申スモノ、外ニ更ニ國ノ權利ト云フコトニ大ナル關係ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト思フ、先ヅ其點カラ觀察シマスルト衆議院ノ修正モ本院ノ特別委員ノ修正モ何レモ第一國家ノ權利ト云フモノヲ自ラ縮メテ屈シテ而カモ利益ト云フモノマデモ併セテ損シマシマフト云フコトニ立至ラウト私ハ考ヘマス、抑、此噸稅ト申スモノハ先刻來ノ議場ノ論議ヲ承リマシタ所ニ於キマシテモ外ニ、地租杯ノ如キ租稅ヤ何カトハ稍々趣ヲ異ニ致シマシテ何レ國ニ多クハ其港ノ維持改良ヲセウケレドモ噸稅其物ノ本體カラ申シテ見スルト多分ハ其港ノ維持改良ヲセカラ或ハ燈臺トカ衛生トカ總テ此海港ニ出入スル船舶ニ便利ヲ與ヘル所ノ費用ヲ償フコトヤ何カト云フモノヲ其中ニ包含シテ居ルト本員ハ信ズルノデアリマス、ソレ故ニ段々政府委員ニ質問モ致シマシタ、未ダ其參考書ト申ス類

ノモノハ見タコトハアリマセヌケレドモ豫テ承リマシタ所デハ佛蘭西ノ如キハ既ニ各港デ取ッテ居ルト云フコトヲ承知シテ居リマス、又現ニ他ノ國ニハナイト一概ニ打消サレタ所ノ内藤子爵ニ於テモ英吉利ハ各港ニ於テ取ッテ居ルト云フコトヲ明言サレマシテゴザイマス、シテ見ルト多クハ入ラナイ、英吉利一箇國デモ公然ヤッテ居ルトコトナラバ是ハ不正不義ト云フモノデハナイ、國トシテ取リ得ラル、モノデアルト云フコトハ明ナ證據トシテ申シテ宜シカラウ、サウシテ見マスルト我數十年開港以來今日マデ思フヤウニ出來ナカッタ此稅權ト云フモノガ帝國ノ手ニ收マッテ是ヨリ各港ニ於テ外來ノ船舶ヨリ噸稅ヲ取ラウト茲デ一ノ權利ガ定マル、サウシテ併セテ此噸稅ト云フモノヲ以テ我デ港灣ノ改良維持修繕ノ目的ヲ達スルト云フコトモ追々出來ルニ向フコトデアラウト本員ハ考ヘルデアリマス、或ハ論者ノ中ニハ日本ノ港灣ト云フモノハ至ッテ粗末ナモノデアアル金ノ掛ッタ港灣ハナイ、天然自然ニ出來タ地形ニ依テヤッテ居ル位デアアル、ソレニ對シテ港灣ノ改良維持ノタメニ噸稅ヲ高ク取ル無理ダト云フ說モ承リマシタガ、若シ我港灣ガ不十分デアルナラ巴益々噸稅ヲ取ル必要ガアラウト思フ御承知ノ通帝國ノ首府ニハ未ダ港灣ト云フ人造ヲ加ヘタモノハアリマセヌ、漸ク橫濱ニ一ツ長崎ト大阪ガ今出來掛ッテ居ル、函館モ出來掛ッテ居ル此開港場ノ如キモノハ皆其地方ガ……橫濱ハ例外ト致シマシテ開港場ノ港灣改築修繕ト云フモノハ地方ガ主ニナリマス、今ノ築港ト申シマスルモノハ政府ヨリ凡ソ三分ノ一位ヲ目途シテ補助ヲヤッテ居ル、ソレ故ニ其地方ハ隨分此港灣ノタメニ重イ負擔ヲシテ居ルデアリマス、ソレ故ニ此港灣ヲ追々改良シヤウト言フニハ何等カノ財源ヲ得ルト云フコトガ最モ有要ノコトデアリマス、此噸稅ヲ各港毎ニ取ッテサウシテ此稅金ト云フモノハ成ルベク他ノ費途ニ向ケナイデ港灣ノ方ニ差向ケルコトニナリマス自然船舶ノ便利モ得ルヤウニナルシ其地方ノ繁榮モ固ヨリ増スト云フコトニナリマセウシ、旁、此各港デ噸稅ヲ取ルト云フコトハ必要ナコトデ實ニ權利ノ確立スルノ利益ヲ收得スルノ例ガ有ル無イト云フコト位ニ拘泥シテ輕々ニ一港ニ削ッテシマフト云フコトハ誠ニ惜ムベキコトデアラウト考ヘマス、其權利ノ問題ニ就キマシテハモウ多ク申シマスルデモゴザイマセズ諸君モ御承知ノコトデゴザイマスガ併シテ是ハ餘程重シデ置カスト内藤子爵杯ノヤウナ御論ガ本案ヲ定メル骨子、道理、理由ト云フコトニ若シ成立チマス後ニ於テ向ッテ各港ニ於テ取ルト云フコトノタメニ餘程妨害クコトハ甚ダ要用ノコトデアラウト存ジマス、是ハ今ノ税金ノ多少ヨリモ權利ノ輕重ト云フモノハ非常ニ大事ナモノデアリマスカラ最モ諸君ガ能ク明ニナシ置カレンコトヲ希望スルデアリマス、ソレカラ利益ノ所ニ至リマスト政府ノ出サレマシタ案デハ凡ソ豫算ノ上デ四十六萬七千七百トカノ樣子デゴザイマス、ソレカラ過日衆議院デ修正セラレタ所モ本院ノ委員會デ修正セラレタ所モ少シシテ違ハアリマス、二十四萬五千元ハ何故ニサウト云フ削減デアリマス、大體ニ於テハ彼此半額ニナルデアリマス、何故ニサウト云フ削減ガ行ハレルノデアアルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、日本ノ船舶ハ此噸稅ニ關係スル所ニ堪ヘナイト云フノガ趣意デアリマス、此日本ノ船舶ハ此噸稅ニ關係スル所ノモノハ何程ノ部分ヲ占メテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、外國船舶ト内國船舶ト寄セマシタ所デ凡ソ内國ノ船ガ四分ノ一位ノモノラシウゴザイマ

ス、外國ノ分ガ四分ノ三、其四分ノ一ノ中デ郵船會社トカ申ス如キ大キナ定期ノ航海ヤ何カラニ居ル分ガ凡ツ五分ノ四若クハ四分ノ二位ニナツテ居ル、其外此頃始メテ新號ニナツタヤウナ社外船ト申スノガアル、此間政府委員ニ質問シマシタケレドモサウ云フ公稱ガナイカラ知ラナイト云フ御答デアリマシタガ、先刻ハ政府委員モツレテ認メタト見ヘテ社外船ト申サレマシタガ、此社外船ト申スハ或ハ一艘一人デ持ツテ居ルモノアリ數人デ組合ツテ持ツテ居ルモノモアリマヌガ詰リ外國ニ向ツテ定期航海ヲスルモノデナク、偶々荷物デモアルト近海ヲ往來スル多分ハ皆内海ノ沿岸ニ往復シテ居ルノデアリマス其社外船ト稱スル船ガ外國ヘ參ツテ日本ノ港灣ニ來テ此噸稅ニ關係スルト云フモノガ内國船ノ中ニ今申通五分ノ一カ四分ノ一位デアアル、サウスルト政府案ノ四十七八萬圓ノ稅額ニ比例テ致シテ見マスルト二萬二千圓位ニナリマセウカ、僅ナモノデアアル、詰リドウカスルト二十分ノ一位ニナリマス、其二十分一位ノ社外船ガ難儀ヲスルカラト申シテ之ヲ半額ニスルトドレ程アル、凡ツ一万多クテ二三千圓位デアリマセウ、社外船ノ一万二千圓ノ稅ヲ輕クシテヤルガタメニ外國カラ來ル船ニ二十萬圓バカリト云フモノハ取ルモノガ取レナクナル、此僅ナ社外船、粗末ナ船ト申スト怒ルカ知レマセヌケレドモ高ガ五百石以上ト申シマスル……二千噸以下ノサウ立派ナマア船ハ少ナイ、サウシテ金高デ申スト今ノ通總體ノ上カラ云ヘバ漸ク二十分ノ一位ノモノデアアル、其モノヲ救フガタメニ此國ノ權利ト云フモノヲ併セテ棄テマタ一万二千圓ノタメニ二十萬圓外國人ノ方カラ取リ得ラレレモノヲ取ラマタスル、如何ニモ權利モ棄テ、シマヘバ利益モ棄テ、シマヘ、斯ウフ事柄ニナリマスルニカガ頃以來本員ナゾハ權利ト利益ノ二ツノタメニ政府ノ原案ノ通復活ナリタイト云フコトヲ豫テ希望致シテ居リマシタノデアリマス、所ガ先日ノ委員會ニ於キマシテモ少數者ノ說ハツイ十分議場デ勢力モ得マセナンダガ是ハ各港デ取ルベキモノダト云フ主義ハ認メラレヌコトデアリマスガ今日ニ至ルモドウモ其勢ヒノ餘リ盛返シタヤウニ見ヘマセヌガ其節ノ少數者ノ意見ノ諸君ナゾハドウカ此各港デ取ルベキト云フコトヲ既ニ御認メニナリマシタ以上ハ寧ロ合同シテ政府案ヲ復活スル、即チ權利モ全クスル、利益モ多ク得ラレレ、小サイ蟲ノタメニ大キナ蟲ヲ殺スト云フコトハ甚ダ善クナイト云フ所ヘ御同感ニナリマシテ成ルベク政府案ヲ復活ト云フ所ヘ御賛成アラントヲ希望致シマス

〔渡邊洪基君發言ヲ求ム〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 渡邊君ハ御意見ヲ御述ベニナルデスカ

○渡邊洪基君 左様デス

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ時刻ニナリマシタカラ一應休憩シマス

午前十一時五十八分休憩

午後一時五分開議

○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

第五回 左ノ建議案ハ本日各發議者ヨリ撤回セラレタリ

第五回内國勸業博覽會ヲ明治三十五年卜定メ大阪ニ開設スルヲ建議案
第五回内國勸業博覽會ヲ明治三十五年卜定メ東京ニ開設スルヲ建議案

第五回 内閣勸業博覽會ニ明治三十五年ハ東京ニ開議スルヲ苑計案
副議長(侯爵黒田三義君) 今明御委託ニナリヤル委員ノ氏名ヲ御報告致

シマス
（最上（倉賀田）長月君）
公草御之語ニカクマシテ之眞ノ且名ヲ御幸告至

〔太田書託官長朗讀〕

水難救護法案特別委員

伯爵吉井幸藏君

子爵松平直忠

家錄賞典錄處分法

子爵谷 干 成君

外山正一

小外
原
重
哉
君

議長(侯爵黑田長成君)

〔渡邊洪基君寅壇〕

邊洪基君 此噸稅法

仕舞二更二一名ヲ加

シテ即チ特別委員長

與ハ初メ此政府案ニ戻

及同意致シタノハ實ハ

シテ卽チ此條文ヲ讀

船舶開港ニ入港シタル

入港シタ毎ニト云フコ

考ヘタノデアリマス

能ク承^ッテ見^ル處ガ全

更ニ甲ノ港カラシテ

アツタノデ甚ダ……

サウスレバソレヲ更

同意致シタルテアリ

サウ云フ狹隘ナコトハ言ハヌヤウニシテ貰ヒタイ、ツレカラ又政府委員ノ説ニ燈明稅モ含蓄シテ居ルカラ各港デ取ツテ宜イト云フ御説モアツタガ、ツレハ決シテサウ云フモノデナイ、燈明稅ヲ取ルナラ燈明稅デ取ルガ宜イ、港ニ含蓄シテ多ク取ルノハ不公平ニナル、抑、噸稅ハ卽チ條文ニ掲ゲテアル通本員ハ初メ誤解シタ通貿易ノタメ外國ニ往來スル船舶ガ海港ニ寄港シタルトキト云フノデアル、內國ノ一ノ港カラ一ノ統治ノ港ニ這入ルノハ今日規定スベキモノデナイノデアル、一度外國カラ一ノ港ニ這入ッテ來レバツレニ對シテノ稅デアル、然ルニ此噸ノ卽チ船ノ積量ニ附イテ率ヲ立テ、アルノデアリマスカラシテ其船ノ積量ハ毫モ變ラヌノデアル、一旦外國カラ這入ッテ來テ其港デ稅ヲ拂ツテ其次ノ港ニ行ッテモ船ノ積量ハ變ツテ居ラヌ、然ルニ一ノ港ニ積量ノ稅ヲ拂ツテシマツタモノ又次ニ行ッテ同ジ積量ノ稅ヲ拂フト云フノハドウシテモ當ラヌノデアル、船ノ積卸ガアツテモ……ツレカラ又之ニ附イテ社外船云々ト云フコトモアリマシタガ社外船ト云フヤウナコトヲ區別シテ見ルニ及バヌ、詰リ一體ノ貿易ノ妨ニナラヌ部分ニ於テ取ルノデアル、稅ヲ取リサヘスレバ宜イノデ、其稅ト云フモノハ成ルベク今日ノ趨勢デハ大船ヲ拵ヘルコトヲ獎勵シテ居ル、我政府モ獎勵シ地球上各國皆其方針ヲ取ツテ居ルノデアアル、經濟上カラモツレガ宜イノデアル、然ルニ各港デ取ル云フコトニナレバ自ラ小サイ船ヲ拵ヘルコトヲ獎勵スル形ニナル、大キナ船ナラバツレダ經濟的損デアル、一港ニ這入ッテ其一港デ半分荷物ヲ積卸シ其次へ行ッテ四分ノ一ヲ積卸シ又其次デ跡ノ四分ノ一ヲ積卸シテ三度稅ヲ拂ヲヨリハ初ノ一港ダケデ、キマリノ附キヤウナ船ヲ拵ヘルノガ當リ前デアル、サウスルト今日ノ經濟上ノ大方針ニ背イテ小サイ船、ドコヘモ回ルニ不便ナ船ヲ拵ヘルヤウニナル、故ニドノ點ニ於テモ我國ニ於テハドウシテモ初ニ這入ッタ港デ一遍取ル、其跡ハ取ラヌ、處ガ毎度朝鮮或ハ上海香港邊リニ往來スル所ノ船ハ一年ニ數回這入ルモノデアリマスカラ其度毎ニ取ッテハ行カヌカラ三十錢一度納メレバ宜イコトニナッテ居リマスカラ毎度出入スル船卽チ小サイ船ニ向ッテモ是デ十分ニ寬ニナッテ居ル譯デアリマス、故ニ再三熟考シタル末、今特別委員長ノ報告ニナリマシタ通ニ一度十錢ヲ取ルト云フコトニナリマシタノデアリマス、ドウゾ此方ニ御贊成ニナルコトヲ希望致シマ

○政府委員(目賀田種太郎君) 渡邊君ハ未ダ或ハ誤解ヲサレテ居リハセヌカ
ト思ヒマス、唯今ノ朝鮮ニ行ク船ハ三十錢納メヌノデアリマス、朝鮮杯ニ行ク
ニハ、ダツタ一ツノ港ニ這入ッテ一タビ納メルノデアリマス、朝鮮杯ニ行ク
宜カラウ、三十錢納メルヤウナ 近距離ノ航海ノ船ハナイト云フ委員會ノ決議
デアリマシタガ其邊ニ附イテハ矢張未ダ御間違ニナッテハ居ラヌカと思フ、ソ
レデ此コトハ既ニ私モ意外ニ存シテ居ルノデスが最初衆議院ニ於テモ難ナク
濟ンダコトデアリマスガ中頃非常ニムヅカシクナリマシテ今日マデモ御審議
ヲ煩シテ居ルト云フコトハ意外ニ存シテ居リマスガ、往々承リマスルニ多少
聽誤リモアルト思ヒマスカラ念ノタメ申上ゲテ置キマスガ、此噸稅ノ實行ニ
於テ或ル地方ニ於テハ從來其港ニ來ル所ノ外國船舶ノ出入ガ少クナル、又長
崎杯ハ其タメニ港ガ寂シクナルト唱ヘテ居リマスガ、ソレハ一向此外國船舶
杯ニ於キマシテハ此位ノ賦課ヲ蒙ラシメマスルコトハ輕クトモ重クハナイノ

○政府委員(目賀田種太郎君) 委員會ノ修正ニ於テ三十錢ヲ納ムル者ハ是ハ朝鮮トカ支那トカ云フ近距離ノ間ニ航海スル者ノ場合ニハ少ナイ、每港ニ於テ取ルノハサウ云フ朝鮮若クバ支那等ノ間ノ近距離ニ往來スル者ハ每港デ納ムルノハ甚ダツライ、ト云フ船ハ今日ハ内國沿海船デアルケレドモ明日ハ外國貿易船ニナツテ行クノダカラドコノ港カラ出ルト云フコトモ極ラヌカラ一年ヲ三十錢ト仕切ルト云フヤウナ場合ハ殆ドナイ、ツレ故ニ三十錢ヲ納ムレバ宜イト云フ規定ガアツテモツレハ役ニ立タナイ、寧ロ一港カラ出ル場合ガ多イカラ最初ノ一港ニ於テ取ラウト云フコトデアッタカラ貴君ノ御述べトハ少シ違ツテ居ル

○子爵小笠原壽長君 贊成

○萊池大麗君贊成

高橋長(佐賀県田川市長) 昨夕、坂田子簾(重議)明日マレ此議事ヲ延、
スト云フ動議デアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デアリマス

○子爵林友幸君 本員ハ此噸稅法案ハ是ハ出來損ヒニナリマシテ甚ダ困ツタ

モノト考ヘマス 今ヤリ直スト云フエトハ甚

[illegible]

○義長(侯爵黒田義成君) 林子爵ニ申シマスガ政府案通ノ修正税モゴザイ

マ、森山君カラ御提出ニナ
ツテ居リマス

○水野尊君議長ニ御尋ね致シマスガ私ハ唯今出席致シマシタガ政府案ヲ以

テ修正案ト致スニハ定規ノ贊成カ要ルダラウト思ヒマスガ如何デゴザイマス

力

○副議長(侯爵黒田長成君) モウ成立^ツテ居リマス

○水野遵君 發言ノ通告者ハ終リマシタカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 發言ノ通告ハ初カラナイノデアリマス
○水野連君 私ハ之ニ賛成ノ演説ハ致シマス即チ第二讀會ノ初ニ於キマシ
テ私が修正説ヲ出シマシテ其結果トシテ調査委員ニ付セラレタノデアリマ
ス、即チ其修正説ヲ維持スルタメニモウ一言申述ベタウゴザイマスガ御許シ
ニナリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ何か修正ノ御動議ガアツテソレヲ御述ベニ
ナラウト云フナラバ差支ヘゴザイマス

○水野連君 極簡短ニ此席ヨリ諸君ニ申シマスガ詰リ此等ト云フモノハ、一
港デ取レバツレデ宜イト云フノト毎港デ取ルト云フノガ爭點デゴザイマス
ガ、私が修正ヲ致シマシタノハ即チ毎港デ取ツテチットモ差支ナイ、反對論
者ハ歐羅巴ニ其例ガナイト言ハレマスケレドモ又其反對ノ例モアリマス、即
チ帝國ニ於テハ燈明臺其他ノ稅モ取リマセヌ、即チ毎港ニ這入ル度毎ニツレ
ダケノ港ノ場所ヲ塞ギツレダケノ恩惠ニ浴シマス故ニ矢張毎港デ取ツテ宜シ
イ、即チ現行デモ二十五錢ト云フモノハ毎港デ取ツテ居リマス、即チ以前ノ
習慣ニ依リ帝國ノ權能ニ依ツテ毎港十錢ノ噸稅ヲ取ルトハ少シモ何モ各國
ノ例ニ違フコトモゴザイマス、又一方ノ他ノ船主ノ利害ニモ關係ハゴザイ
マセヌコト故ニドウカハ色々議論ガ出マシテ出來損ヒマシタガ矢張原案ノ
趣旨ニ依ツテ此修正ノ成立タシコトヲ希望致シマス

○久保田讓君 本員モ政府ノ原案ヲ賛成致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ採決致シマスガ改メテ宣告ヲ致シマス、
先ヅ第一ニ森山君カラ定規ノ賛成ヲ得テ政府案通ノ修正説ガ出テ居リマス、
之ヲ一番ニ採ル積デゴザイマス、ツレデ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 森山君ノ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 多數デゴザイマス、次ニ第二條是ハ朗讀ヲ省略
致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第二條 噸稅ハ船舶入港シタルトキ船長ヨリ稅關ニ納付スヘシ

○男爵渡邊清君 續テ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○副議長(侯爵黒田長成君) マダ二讀會ガ濟ミマセヌ

○森山茂君 唯今ハ一條ガ問題ニナツテ居リマス

○副議長(侯爵黒田長成君) サウデス、唯今問題ニナツテ居リマス、第二條
ハ別段御異議ガナイト認メテ宜シウゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ原案ニ決シマス、次ハ第三條、是ハ朗讀
ヲ致サセマス

(小原書記官朗讀)

第三條 船用品積入ノ爲入港シタル船舶若ハ海難其ノ他止ムヲ得サル事故
ニ由リ入港シタル船舶ニハ噸稅ヲ課セス

第三條 海難其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲帝國ノ開港ニ寄港シタルトキハ
第三條ノ入港ト看做サス但シ本條ノ事故ニ由ルニ非シテ貨物ノ積卸ヲ
爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 海難其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲帝國ノ開港ニ寄港シタルトキハ
第三條ノ入港ト看做サス但シ本條ノ事故ニ由ルニ非シテ貨物ノ積卸ヲ
爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

○森山茂君 第三條ニ修正説ヲ提出シマス、是ハ政府カラ當テ出マシタ原案
ノ文字通提出致シマス、即チ「海難其ノ他止ムヲ得サル事故ニ由リ入港シタ
ル船舶ニハ噸稅ヲ課セス但シ本條ノ事故ニ由ルニ非スシテ貨物ノ積卸ヲ爲
ストキハ此ノ限ニアラス」ト致シタイ、之ニ御賛成ヲ請ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 御參考ノタメニ森山君ノ唯今ノ修正説ヲ朗讀致
サセマス

第三條 海難其ノ他止ムヲ得サル事故ニ由リ入港シタル船舶ニハ噸稅ヲ課
セス但シ本條ノ事故ニ由ルニ非スシテ貨物ノ積卸ヲ爲ストキハ此ノ限ニ
在ラス

○男爵西五辻文仲君 森山君ノ修正ニ賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○山田卓介君 賛成

○富田鐵之助君 賛成

○子爵堀田正義君 賛成

○子爵高野宗順君 賛成

○男爵平野長祥君 賛成

○久保田讓君 賛成

○南鄉茂光君 賛成

○伊澤修二君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 最早定規ノ賛成ガゴザイマシタ、是モ矢張森山
君ノ修正説ヲ一番ニ採決致シマス、ツレカラ特別委員ノ修正、ツレカラ原案
ト斯ウ云フ順序ニ致シマス、森山君ノ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 多數デゴザイマス、次ハ第四條ヨリ附則第八條
マデ即チ終リマデ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第四條 稅關長ニ於テ必要ト認ムルトキハ船舶ノ測度ヲ爲スコトヲ得

第五條 噸稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ噸稅ヲ納付セスシテ出港シタルトキハ船長
ヲ其ノ通脫ヲ圖リ若ハ納付セサリシ稅金ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第六條 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス但シ通告履行ノ
期間ハ通告ヲ受ケタル時ヨリ四十八時以內トス

第七條 噸稅ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ヲ適用セス

附則

第八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ガナクハ原案ノ通決シマス、之ニテ第二
讀會ハ終リマシタ

○伯耆大原重朝君 日程ヲ變更シテ直チニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマ
ス

○男爵西五辻文仲君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ガナクバ直チニ第三讀會ヲ開キマス

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

○副議長(侯爵黒田長成君) ソレデハ直チニ第三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ガナクバ原案ノ通可決致シマス

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ可決致シマシタ、關稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵鳥居忠文君演壇ニ登ル)

○子爵鳥居忠文君 委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、委員會ハ一昨日ト昨日ト二回ニ開キマシテ政府委員ニ種々質問ハ致シマシタナレドモ殆ド討論ヲ要スルコトモナク議了致シタコトデアリマス、ナゼトナレバ此法案ハ現行法即チ關稅法並ニ國稅規則ノ不備ナルモノヲ補ヒ又ハ改正ヲ加ヘテ提出サレタモノデアリマシテ新ニ此法案ノ出來タ譯デアリマセヌ、ソレ故ニ討論モ格別ナク委員會ハ一字一句ノ修正モ致サズ原案通可決致シマシタ譯デアリマス、條項ハ随分ゴザイマスケレドモ右様ナ次第デアリマシテ衆議院デモ一向修正モ加ヘズ又委員會ニ於キマシテモ原案ノ通可決致シマシタ譯デアリマス、カラ何卒速ニ本議場ニ於キマシテモ御可決アラントヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 議長

(子爵内藤政共君ニ質問ガアリマス)ト述フ

○副議長(侯爵黒田長成君) 小笠原子爵ニ發言ヲ許シマシタ

○子爵小笠原壽長君 此案ハ條ハ大分多ウゴザイマスガ委員會ニ於テハ唯今委員長ノ報告ノ通一字一句ノ修正モナク又衆議院ニ於テモ一字一句ノ修正モアリマセヌナラ諸君ニ於テモ別ニ御異議ハナイト存ジマスカラ本員ハ讀會ノ順序ヲ省略セラレンコトヲ希望致シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵西五辻文伸君 賛成

○宮本小一君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成ガアリマス、讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、内藤子爵ハ御質問ガアリマスナラバ今ノ中ニナサルヤウ……

○子爵内藤政共君 チョット質問ガアリマス、第二條ノ所ニ輸入貨物ガ損傷シタトキニ其減稅ヲ請フコトガアッタトキニハ免許前ニ限ッテツレ相當ノ減稅ヲ爲スコトヲ得ト云フコトニナッテ居リマス、ソレハ委員會デ何カ御説ガアリサウナモノト考ヘテ居リマスガ輸入免許ト云ヒマスルトマダ其前ニハ輸入

シマシタ所ノ貨物ノ荷ヲ解ク所ニモ至ラズ唯稅關ニ揚ゲタバカリダウト思ヒマス、サウ云フトキニナリマシタラバ定メテ損傷ガアッタト云フコトヲ見出シマスニハ輸入免許ヲ得テカラ後ニナリマスデゴザイマス、斯ウ云フ第二條ノヤウニ規定ニナリマシタナラバ損傷ト云フモノハ殆ド過半ハ皆輸入免許ヲ得テカラ後ニ見出スト云フコトニナッテ其前ニ見出スト云フコトハ速モ出來マスマイト考ヘマス、此等ノコトハ何トカ委員會デ御説ガアッテ或ハ稅關ノ構内ヨリ出ス時マデトカ何トカ云フコトニ是非御修正ガアリサウナモノト本員ハ考ヘテ居リマスガ如何デゴザイマス

○宮本小一君 唯今ノハ私ハ委員ノ一人デゴザイマスカラ御答ヲ致シマス、是ハ委員會デモ一應政府委員ニ此免許前ト云フ三字ハ質問ヲ致シマシテ疑ヲ持チマシタガ、詰リ内藤子爵ノ言ハレヤウナ意味デ少シク酷ニナリハシマイカト云フ疑ハアッタ、サリナガラ政府委員ニ於キマシテハ荷物ヲ船中デ調ベテ見テ損傷シテ居ッタノハ直キニ分ルコトデアッテ、ソレヲ波止場カラ上ニ揚ゲテカラ始メテ心附イタト申シマスルノハ事ニ依リマスルト云フトツレハ誠ニ無心ニ發見シタノカモ知レマセヌケレドモ全體ガチット等閑ト申シマセウカ或ハ怠ッタト申シマセウカ少シク、アノ方ニモ不注意ガアッタ、サウ云フモノハ構ハヌ何デモ彼デモ輸入ノ免許ヲ與ヘタ後ニ見出シタノハツレハ決シテ減稅シナイト云フノガ先ヅ從前ヨリノ慣例デゴザイマス、シテ見マスレバツレデ異論ハナイコトデ委員會デモ一同同意ヲ致シマシタ、心附カナイデモナイ、心附イテハ居リマススケレドモ先ヅ原案ヲ可ト致シマシタ

○子爵内藤政共君 モウ一度質問致シマス、サウ致シマス委員會デハ其コトニ御心附ニナッテ居ッタガ今御説ノ通船長ハ知ッテ居ル譯ダト云フ、成ル程自分ノ持ッテ居ル船ダカラ知ッテ居ル譯ダト云フコトデ、サウシマスレバ船長ト云フモノハ荷倉ニギッシリ積ンデ居ル間ノ中ヲ見回リデモスルト云フヤウナコトデ、其邊マデ考ヘテツレナラバ宜カラウト云フヤウナ御考ガアッタデスカ、其邊ハ大抵御察シニナッタラ多クノ荷物ヲ船長ガ皆知ッテ居ルト云フ譯ニハ參リマス

○宮本小一君 成ル程事ニ依ッテハ目モ居カズ一々ツレヲ檢査スルコトハ出來ナイカモ知レマセヌ、サリナガラ港ヘ著キマシテツレヲ輸入ノ免許ヲ請ヒマセウト云フトキニハ一通檢査シナケレバナラヌ、サウシテ後ニ檢メタ云フコトハ荷主ナリ船長ナリノ申サバ職掌デゴザイマス、ソレヲ一々檢メタトキニ始メテ發見シタカラト云フテ減稅ト云フコトデハ稅關ノ手數モ減ニ煩ハシクナリマス、殊ニ從來四十年モ遺リ來ッテアルノデアリマスカラツレガ慣例ニナッテ居レバ申サバツレデ論ノナイ話、且ツ又餘程是ハ政府ノ收入ニ關係スルコトデアリマスカラ委員ニ於キマシテハドコマデモ減稅シナイト云フ方ニ左袒シタノデアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 本案全部原案ノ通ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ可決致シマス、登錄稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長ノ報告

(伯爵大原重朝君演壇ニ登ル)

○伯爵大原重朝君 登錄稅法中改正法律案ノ結果ヲ御報道致シマス
一昨日午前ニ委員會ヲ開キマシテゴザイマス政府委員ニ段々質問モ致シマシ
タヤウナコトデゴザイマシタガ此程決議ニナリマシタ特許法案意匠法案商標
法案アレガ通過致シマシタニ依リマシテハ詰リ登錄稅法中ノ箇條ガ右三法案
ニ附イテ行ッテ仕舞ッタト云フコトデゴザイマシテハ新規定登錄ト云フ箇
條デアリマスカラ附イテ參ッタノデ殘ル所ノモハ讓渡又ハ共有質入ト云フ
二箇條ガ殘ッテ居ルノデアリマス、ソレデ詰リ改正ト云ヘバ改正特許法ガ
持ッテ行ッタ故ニ登錄稅法中ニハイラナクナッタト云フ結果デアルノデ詰リ讓
渡又ハ共有質入ト云フ一號二號ガ外ノモノガ拔ケタメニ取ッテ一二ト云フ
文字ヲ頭ヘ被ラセラレタダケデ別ニ討論ト云フコトモナカッタノデアリマス、
ソレデ斯ウ云フ法案デアリマスカラ特許法ノ出ヌ前ニ登錄稅法中ノ改正ヲ一
時ニ出ス積デアリマシタケレドモ餘リ三法案ガ成立タヌ中ニ登錄稅法中改正
案ガ先キニ出マシタカラ跡ハ殘ッタ所デ三法案ガ可決シタ故ニ更ニ出サナケ
レバナラヌト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、詰リ刪除シタト云フニ
止ル法案デアリマス、ソレ故ニ何ノ異議モゴザイマセズ可決シタ譯デアリマ
ス、右様ナ次第デゴザイマスカラ讀會ヲ省略シテ可決アラントラ望ミマス
○子爵小笠原壽長君 讀會省略ニ贊成
○三浦安君 贊成
○男爵金子有卿君 贊成
○男爵中川興長君 贊成
○子爵前田利憲君 贊成
○子爵本莊壽巨君 贊成
(其他「贊成」ト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 最早定規ノ贊成ガゴザイマシタ讀會省略ニ同意
ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○副議長(侯爵黑田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會省略ニナリマス
○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ガナケレバ原案可決ト認メマス
(異議ナシ)ト呼フ者多シ

○副議長(侯爵黑田長成君) ソレデハ可決致シマス、次ニ明治三十年法律第
十四號關稅定率法中改正法律案、衆議院提出第一讀會ノ續特別委員長報告
○公卿二條基弘君 此案ハ委員會ニ於キマシテ種々決議ノコトニ附イテ雙方
ニ意見ノ差異ノ生ジタコトガゴザイマシテ種々ナコトモアルヤウデスカラ此
儘之ヲ進行シタトキニハ押附ケルヤウニナッタ甚ダ宜シクナイカラ本日ノ此
日程ニハ上ッテ居リマススケレドモ之ヲ延期シテ委員長ノ考デハ再ビ委員會ヲ
開イデ能ク熟議ヲシテ再ビ御報告ヲ致シタイト存シマスカラ此コトヲ本日ハ
延期スルト共ニ報告ノ撤回ヲ希望致シマス
○三浦安君 贊成
○子爵曾我祐準君 贊成
○子爵長岡護美君 贊成
(其他「贊成」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今二條公卿ヨリ特別委員長ノ資格ヲ以テ申し
出ラレマシタコトハ宜カラウト思ヒマスカラ御異議ガナケレバ……

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

(子爵小笠原壽長君「異議ガアリマス」ト述フ)

○村田保君 異議ガアリマス、本員ハ是ハ別ニ調ベルコトハナイデアラウト
思フ、何故ト申シマスレバ是ハ先月ノ十五日ニ委員付託ニナリマシテ十五日
以來半月ノ餘モ掛ッテ居ルノデ格別何モ込入ッタコトデハナイ、唯免除スル
カ、シナイイカト云フ二ツノコトデアリマススカラ是ハ直ニ此處デ議事ニ掛カ
ラレンコトヲ希望致シマス
○子爵小笠原壽長君 贊成
○子爵玉松眞幸君 贊成
○關義臣君 贊成
○兒玉淳一郎君 贊成

○子爵曾我祐準君 是ハ委員長ノ資格ヲ以テ延期ヲ請求セラレタノヲ諸君ハ
容レナイト云フ議論デアリマス
(子爵舟橋逸賢君「無論デアリマス」ト述フ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 相對ノ御討論ハイケマセヌ
○子爵曾我祐準君 委員長ガ委員長ノ資格ヲ以テ之ヲ請求セラレルニ容レヌ
ト云フノハ委員會中カラ仰シヤルノカ或ハ委員外カラ仰シヤルノカ
(舟橋逸賢君「委員會中カラ」ト述フ)

○子爵曾我祐準君 委員會中ノ人ナラバ格別、委員外ノ者ハ委員長ノ資格ヲ以
テ請求セラレタト云フコトヲ議長ガ宣告サレタ以上彼是言フコトハナラヌト思
フ、委員會中ノコトナラバ如何ナル事情ガアルカ知ラヌガ委員外ノ者ハ或ハ知ッ
テ居ラレルカ知ラヌケレドモ公ニハ知ラヌノデアル、故ニ委員會中ノ人ハ格別
委員外ノ者ハ委員長ノ報告ニ對シテハ委員長ノ面目ニ對シテモ容レナケレバ
ナラヌコト、考ヘル又村田君ハ是ハ疾クニ出テ居ルノデ至ッテ無事ナ案ト云
フコトデアアルガ本員ハ非常ニ無事デナイ案ト認メテ居ル、事實ニ於テ知ッテ居
ル、甚ダ無事ナ案デナイ隨分是ハ鹹魚其物ノ如ク臭イ案デアルト云フコトヲ
知ッテ居ル

○子爵堀田正養君 本員ハ今會我君カラ委員長ノ請求ダカラソレハ異議ヲ言
フコトハ出來ヌト云フコトデアリマシタガサウ云フ規程ハ貴族院ノ規則ニハ
ナイト思ヒマス、即チ此議場ニ報告サレタ以上ハ延バス延バサヌハ議院ノ權
能デアラウト思ヒマス、且ツ本員ノ如キハドウモ延ベル程ノ必要ハアルマイ
ト思フ、一昨夜ヨリ電報ガ參リマシテ殆ド醫師會法案ト同ジヤウナ結果ニナ
リハヒヌカト思ヒマスカラ願ハクハ速ニ孰カニ決セラレンコトヲ希望致シマ
ス

○子爵小笠原壽長君 本員ハ全ク堀田子爵ト同斷デアリマス、一遍議場ニ報
告ニナッタ以上ハ許ス許サヌハ議院ノ權能ニアリマスカラ議長カラ御尋ニ
ナッタ許サヌト云フコトナレバ宜シウゴザイマスカラ全ク私ハ堀田子爵ト同
斷デアリマス
○子爵谷干城君 是ハ何分本員杯ハ今日ハ委員長ノ請求ノ通御延バシナリ
タイト思ヒマス、若シコ、デ之ヲ是非ヤルト云フコトニナレバ秘密會デモ請
求シナケレバナラヌコトニナラウト思フ、サウスルト醜態ノ上ニ醜態ヲ重ネ
ルヤウニナル、デ旁、以テ委員長ノ請求ヲ容レルコトハ至極穩當デアラウト考

ヘマス、本員杯ハ成ルベク穩當ニシタイト考ヘマスカラ委員長ノ説ニ贊成致シマス

○男爵小澤武雄君 此案ニ附イテハ諸君ハ能ク御考ヲ願ヒタイ、今委員長ノ報告ヲ容レズニ之ヲ議案ニシタキドウ云フ手順ニナルカト云フコトノ御考ヲ願ヒタイ、特別委員長ハ委員會ニ於テ何トカ行違トカ承リマシタガ再應委員會ヲ開イテ議シタイト云ハレタ、サウシテ見レバ之ヲ議案ニシタ所ガ其コトニ附イテ委員長カラ報告ハ出來マイト思フ、斯ウ云フコトデアッテサウナルト云フト誠ニヘンテコノモノガ出來ル、勿論此議事日程ニ載ツタ以上ハ議スル議サハ滿場諸君ノ意思ニ依ッテ極メルコトデアリマスガ此問題ハ貴族院始ツテ以來ノ妙ナコトガ出來ヤウト思ヒマス、何ゾ一日ヤ半日ヲ爭フニハ及バヌノデアリマスカラ之ヲ御容レニナツテサウシテ更ニ報告ヲ得テ開クコトガ至當ノコト、考ヘマス

○男爵尾崎三良君 本員モ矢張小澤男爵ノヤウナ意見デアリマシテ免ニ角委員ノ中デ未ダ十分審議ヲ遂ゲナイ所ガアルカラ委員長カラ少シ延ベテ貰イタイト云フ請求ガアル以上ハ之ヲ延ベルコトハ極至當デアアル、又此コトニ附イテハ隨分色々ノコトヲ聞込シタコトモアリマスシ之ハ固ヨリワレガタメト云フ譯デアリナイノデスガ免ニ角サウ云フ物議ノアルモノヲ今早急ニ咄嗟ニヤッテシマフコト云フコトハ甚ダ穩當デアリト思ヒマスカラ十分審議ヲ遂ゲマシテ其上可否ヲ御極ニナツタ方ガ私ハ公平デハナイカト信ズルノデアアル、之ヲ何ゾ今ヤラニヤアモウ明日ニナツテハドウナルカ知レヌト云フコトデコ、ニ御議決ニナルノハ甚ダ然ルベカラズト本員等ハ考ヘルノデゴザイマス、委員中ノ審議ガ十分盡シテ居ラヌト委員長ガ云ハル、位デアアルカラ盡シテ居ラヌト信ズルヨリ外仕方ガナイ、之ヲ延バサズニ今直ダニ審議サセヤウト云フノハ隨分無理ナ注文デアハナイカト私共ハ思フ

○子爵板倉勝達君 本員ハ唯今堀田子爵カラ云ハレタ通其方ニ贊成デ村田君ヨリノ請求ニ依ル方ガ宜イト思フ、一體委員長カラ日延ヲ請求サレルノハ少シ私ハ了解シナイ、否決ヲ決シタト云フ一旦報告ガ回ッテ居ル、然ルニ又此問題ニ附イテハ少數意見ト云フモノガアル、委員會ニ於テハ十分雙方議論ヲ盡シタモノト思フ、簡單ノモノデアリマスカラ今日直ニ之ヲ議決アラランコトヲ希望致シマス

○松岡康毅君 本員ハ最初ハ必ズ今日ノ議事ニ掛ケナク、テモ延ベテモ苦カマルマイト思ッテ居リマシタ、段々承ル所ニ依レバ谷子爵杯ノ御話デハ何カ非常ニ妙ナコトガアル之ヲ公會ニスル時分デ何カ醜態ノ譚ニデモ至ルガラ秘密會議ニデモセズバナルマイト云フヤウナコトデアリマシテサウシテ單ニ延ベルト云フコトニナルト或ハ貴族院ハ醜態ノモノガアルガタメニ握リ潰シテ隠昧ニ付スルト云フヤウナ嫌ヲ懷イテハナラヌト思ヒマスカラ委員長カラ延ベタイト云ハレマスノハイツマデ延ベラレルノデアリマセウカ、提潰スノデハナク明白トカ明後日トカマデニハ報告スルト云フ御考ガアルノデゴザイマセウ、ソコヨ一應承ハリタイ

○公爵二條基弘君 松岡君ニ御答致シマス、勿論私ノ延期ヲ願ツタノハ決シテ提潰ス譯デアリマセウ、唯其手續上ニ於テ少シ行違ガアリマスカラソレヲ正シタモウ一遍委員會ニ於テ整理シテ直ニ御報告スル積リデアリマス、即チ明日御報告シテモ又今日議事散會後直ニ委員會ヲ開イテ直ニ御報告モ出來ル譯デアリマスカラ決シテ提潰スル積リデアリマセウ

○松岡康毅君 委員長ノ請求ノ通御容レニナルコトヲ私共希望致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 本席ノ見ル所ヲ申述ベマス、本席ニ於テハ二條公爵ノ要求ハ特別委員長トシテ本案ヲ更ニ審查スルタメニ一先ゾ撤回シタイト云フ要求デアリマシタ、若シ之ガ唯議事ヲ延期スルト云フコトデアレバツレハ滿場諸君ニ問ハナケレバナラヌノハ當然デアリマスガ撤回ノ要求デアリマスト法律案ヲ發議致シ又、建議案ヲ發議スルトキ發議者ガ撤回ヲ要求スレバ當然撤回ガ出來ルノデアアルカラ本席ニ於テハ當然撤回ニナツテ宜シカラウト認メマス、併ナガラ之ハ重大ナコトデモアリ將來ノ典例ニモナリマセウカラ篤ト御議シニナルコトハ宜シカラウト思ヒマスガ本席ニ於テハ左様解釋シテ居リマス

(「異議ナシ」ト述フル者アリ)
○渡邊洪基君 異議ハアリマセウ
○副議長(侯爵黑田長成君) 本席ノ解釋ニ附イテ御異議ハゴザイマセウカ……

(「異議ナシ」ト述フル者アリ)
○男爵末松謙澄君 ちヨット一言致シマス、私ハ本題ニ附イテ彼是申ス譯デアリマセウガ唯今ノコトハ委員長ノ報告ハイツデモ撤回ガ出來ル、之ハ少シク御考ヲ願ハナケレバナラヌト云フコトハ規則ノ中ニ委員ノ報告ハ議場ノ許可ヲ得ナケレバ引クコトハ出來ナイト云フコトハ箇條ガアツタヤウニ記憶シテ居リマス

○副議長(侯爵黑田長成君) サウ云フ箇條ハアリマセウ
○男爵末松謙澄君 私ハアツタト思ヒマス、然ル以上ハ妙ナコトニナリハシマセウカ
○副議長(侯爵黑田長成君) 今末松君ノ仰シヤルノハ議員ノ修正ニ係ルコトハ或ハサウ云フ規定ガアリマスカラ議場ノ許可ヲ得ナケレバ撤回ハ出來マセウガ法律案建議案等ハ撤回ガ出來ルコトニナツテ居リマス

○男爵末松謙澄君 我ハサウヂヤアナイト思ヒマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○村田保君 如何デゴザイマセウ、サウ致シマスト少數意見モ共ニ撤回ニナル譯デアリマスカ
○副議長(侯爵黑田長成君) ソレハ矢張附隨シタモノデアリマスカラ當然撤回ニナリマス

○村田保君 ソレデハドウゾ今日委員長カラ散會後ニ集マルト云フコトデゴザイマスカラドウゾ散會後ニ集マルト云フコトニ致シタイト思ヒマス
○副議長(侯爵黑田長成君) ソレハ今少シ問題外ト思ヒマス、次ノ日程ニ移リマス、關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(公爵二條基弘君演壇ニ登ル)
○公爵二條基弘君 委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道致シマス、此案ハ極單簡ナル案デアリマシテ別段サウヤカマシイ質問等モ何モゴザイマセナダデゴザイマス、此案ノ主意ト云フモノハ曩ニ關稅定率案ノ改正ガ出マシタトキニ鑛石ダケハ金子君ノ修正ニナツテ免除ノコトニナツテ居マス、後トハトウマス類即チ過鑛酸肥料ノ修正ニナツテ免除ノコトニナツテ居マス、後トハトウ居ラヌノデゴザイマス、ソレ故ニ是ハドウシテモ今日ノ我邦ノ農事ノ改良ヲ

スル要領デアリマシテ、即チ其主意ヲ以チマシテ茲ニ簡條ヲ分チテ項ヲ分チテ數項ヲ規定致シタ、第九十六條ヲ改正致スト云フコトノ報告ヲ致シマシタノデアリマス、ツレカラ同ジ委員ニ付託サレマシタ此異議申立ノコトデアリマス、之ニ附キマシテハ段々委員會デ評議致シマシタ所デドウシテモ一見此反證ノ例ヲ設ケタラ宜カラウ、贊成者ヲ起立サセテ其結果ガ疑ハシイトキニ異議ヲ申立テハ、其トキニハ反對ノ方モ起立サセテサウシテ雙方照シテ見レバ大概其結果ハ分ルモノデアリマスカラ、其反證ヲ必ズスルト云フコトニ規定ヲ極メタナラバ宜カラウ、實地ニモ近來行レテ居ルコトデアリマスカラ規則上ニ極メテ置ク方ガ宜カラウ、而シテ尙ホ其上ニ異議ガアルトカ或ハ疑ハシイトキニハ贊成者ノアルヲ俟ッテ氏名點呼ニ移ルト云フコトニ致シタラ宜シカラウ、其トキノ異議ノ申立ニハ十人デ宜シウゴザイマセウ、討論終局ハ二十人デアアルカラ異議ノ申立ノ場合ニハ十人ノ贊成ガアリマシタナラバ即チ氏名點呼ヲスルコトニ致シタラ丁度權衡ヲ得ルデアラウト云フコトニ評決ヲ致シマシタノデアリマス、即チ其主意ヲ以チマシテ第六百六條ヲ修正致シマシタ、此修正案ハコ、ニ提出致シテアリマス、而シテ右ニ依ッテ書キマシタル修正ノ文句ハ最早諸君ノ御手許ニ配付ニナッテ居リマスカラ私ハ一々朗讀ベキコトデアラウト評決致シタ譯デアリマス

○渡邊洪基君 至極宜シカラウト思ヒマスカラ贊成致シマス

○子爵曾我祐準君 チョット質問致シマスガ段々御骨折デ大變ニ宜イ修正ガ出來タト思ヒマス、殊ニ九十六條ノ五項ノ如キハ甚ダ贊成致シマス、國務大臣政府委員ガ發言シタトキニハ討論ヲ再ビ起スト云フコトハ餘程是ハ宜イ修正ト思ヒマス、ツレデ御尋致シタイノハ即チ此討論終結ノ後未ダ議題トナラザル修正ノ成案アルトキハ……成案ト云フノハ即チ成ッタ案ト云フコトデアラウガ、又ハ文句ヲ口デ云ウテモ宜イト云フノデアリマス

○男爵末松謙澄君 是其委員會ノ意見デハ矢張斯ウ云フ場合ハ唯口デ云ヒマシタダケデハ一向分ラナイコトガアリマスカラ……修正ハ成案ヲ具ヘテ云云ト云フコトガ規則ニアッタラアレニ依ッタ積デアリマス、チャント議長ノ手元ニ出ル、ツレバ議長ガ讀ムノデゴザイマスカラ心ノ中デ考ヘテ居ルト云フノハムヅカシイ、口デ云ウテカラ案文ニシテ出シテ下サラヌト餘程其コトガムヅカシカラウト思ヒマスノデ、是ハ他ノ實ハ澳地利ノ例ニ依ッタノデアリマスガ、澳地利ノ議院規則ニハチャント書イタモノヲ出ス、ツレバ議長ガ讀ム報告ヲスル即チ朗讀ヲスルト云フコトガ原文ニハ書イテアル位デアリマスカラ其主意ヲ取ツタノデゴザイマス

○侯爵細川護成君 本員ハ末松男爵ニ申シマスガ此討論終局ノ動議ト異議申立ノコトハ至極御贊成ヲ致シマスカラ是ハ何時カラ……若シ此案ガ可決セラレタラ明日カラ實行致サレルト云フ考デアリマスカ

○男爵末松謙澄君 是ハモウ議決ニナリマシタラ議決シタ即時カラ有效ニナルト云フ考デ居リマス

○侯爵細川護成君 本員ハ左様ナラバーノ動議ヲ提出致シマス、此案ハ是マデノ慣例トハ餘程違ッタモノト思ヒマスカラ、會期モ切迫シテ居リマスカラ次ノ議會ヨリ實行セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

○子爵曾我祐準君 末松君ニマ一箇條伺ヒタウゴザイマス、第九十六條ノ六項、即チ末項デス、是ハ先刻ノ御説明デ質問ガ長ビイテ無闇ニ時間ヲ費スヤウナコトハ宜シクナイカラ其極リヲ附ケヤウト云フ御考デアリマス、我々モ隨分質問ヲ長クシテ長イ時間ヲ費シタコトモアリマスガ、實ハ何故ニ質問ノタメニ時間ヲ費シタコト考ヘテ見ルト、討論終局ガ忽チ出マスニ依ッテ時間ヲ引カントシテモ引キヤウガナイ、議場ヘ出ルト討論終局專門家トモ云フベキ人ガ議場ニ居ッタコトガアル、大概イツデモ討論終局ガ出ル苦シサニ餘儀ナク質問デ引キマシタガ討論終局ニ斯ノ如キ制裁ヲ附ケレバ此第六項ハナクテモ宜カラウト思ヒマスガ、委員ノ調査ハ如何デアリマシタカ、アッテ惡イトハ申シマセヌガナクテモ宜イト思フ、何故ニ此質問ヲ長ビカセタコト云フト一人發論スルカ發論セヌ中ニ討論終局ガ出テ來ルノヲ避ケルタメト云フ事實ヲ御承知デ御調査ニナッタノデアアルカ、ソレヲ御尋シマス

○男爵末松謙澄君 實ハ各國ノ事例ヲ段々研究シマシタガ質問ノコトニ附イデハ規程ガ甚ダナイノデアアル、ソレハ實際我議院デ言フヤウナ質問ノ規程ハナイノデアアル、直ニ討論ニカ、ルノデアアル、併ナガラ我國ニ於テハ質問ト云フコトハ慣例ニモアリ又法律杯ノ意味合ヲ説明スニハ餘程必要デアアルカラ直ニ之ヲ止メルノハ不都合デアリ又利益モアルコトデアアルカラ其儘ニ保存シテ置イデ宜イ、併ナガラ此制裁ヲシテ置キマセヌト此コトノタメニ殊更ニ長クスルト云フヤウナコトモ時々起ッテ來ナイト云フコトモナイノデアアル、又不急ノ質問モ續々出ルヤウナコトモアリマスカラ矢張置イデ置イタ方が宜カラウト云フコトモ委員會ニ於テハ是ハナクテモ宜カラウト云フ論ハ一人モナクッタノデアアリマス

○久保田讓君 チョット質問シタイ、私モ是ハ贊成デアリマシテ善ク出來テ居リマスガ、先刻曾我君ノ御質問ガアッテニ附イテ末松君ノ御答ガアッテガ、成案ノコトデ、此成案ハ總テ書類デ書付ニナッテ居ラヌケレバイカヌト云フコトデアリマシタガ是ハ差支ヘルカト思ヒマス、是ハ唯今ノ貴族院規則ノ第九十八條ニ「議案ニ對スル修正ノ動議ハ其ノ案ヲ具ヘ議長ニ提出スヘシ」トアルカラ當然書付ニシテ、サウシテ修正スルコトヲ書イテ二十名ノ贊成ヲ得テ議長ニ出スノガ當リ前デアアル、併シ修正ニモ色々アッテ僅ナ修正デ一字カニ加ヘレバ分ル、チョット言ッテソレデ分ルト云フ修正モアル、是マデ慣例モ澤山アル、既ニ著作版權法ノトキニ伊澤君カラ字句ノ修正ガアッテ成立ッタコトガアリマス、ソレ等ノ極簡單ナモノマデ書付ニシタ成案ヲ出サヌケレバ成案トハ言ハレヌトナルト餘程困ルコトガアラウト思フガ、ソレデ當リ前ハ成案ヲ出セバ宜イガ或ハ便宜ニ依ッテ極簡單ナ分リ易イモノハ是マデノ慣例ノ通極分リ易イモノハ議場デ言ッテモ宜イト云フコトニスル緩カナ解釋ハナイノデスカ

○男爵末松謙澄君 是ハ私ハ解釋ノコトニ附キマシテ或ハ將來サウ云フ解釋ニナルカ知リマセヌガ、元來ハ是マデノヤウニ案ヲ具ヘナイデ修正ガ出テハ整理上隨分困ルコトガアラウ、一體整理上カラ言ッテモ案ヲ具ヘテ出スト云フ本文ニ依ッテ行ク方が本當デアラウト思ヒマス、サリナガラ本規則ノ中、案ヲ具ヘテ出スベキデアアルニ議場ノ慣例デソレガ緩クナッテ居ルト云フコトデアリマスガ、サウ云フコトハ其慣例ヲ生ズルト云フコトハ出來ナイト云フコトモ、修正ノ一箇條ニ附イテ言フコトハムヅカシイト云フコトモ出來マスマイカラ、ソレト同シコトニ慣例ガサウ云フコトニナッテ行クカモ知ラヌ

ガ、併シ本規則デサウ云フコトガ出來ルト之ヲ改メナイ以上ハ、コチヲノ方ノ文字ヲ改メル課ニ行カヌト思ヒマス、故ニ此場合ニ於テハソレハ宜カラウト云フコトハチョット申上兼マス、殊ニ又議長ガ報告スルヤウナ場合ニハ一ツ書イタモノガナイト餘程不都合ナコトガアラウト思ヒマス、繰返シテ申セバ他ノ部分ガ規則ニ於テ幾分カ緩クナッテ居レバ自ラソレニ波及スルヤウナコトガ或ハ生シテ來ルカモ知リマセヌ、ソレガ不都合ナラ元ノ法ヲ正シテ行カナケレバナラヌト云フコトガ起ル、其ヤウニナッテモ差支ナイガ、此案ノ主意ガサウデアアルト云フト本規則ノ「案ヲ具ヘ」ト云フコトモサウデナクテモ宜イト云フ解釋ガ起ッテ來ルカモ知レナイ、ソレハ自然ノ成行キニ任カシタガ然ルベキカト思ヒマス

○久保田讓君 私モ文字ヲ變ヘヤウトハ言ハヌ、矢張書付ニシタ方が宜イトハ思フガ、併シ是マデ澤山慣例モアリマスシ又實際其方が便利ト思ヒマスカラ末松君ノアナタノ御説明ニ依ッテ將來ニ關シテ慣例ヲ變ヘテシマハウト云フ譯デアリト云フコトデアアレバソレデ宜シイ

○子爵堀田正義君 チョット質問シタイ、此討論終局ノ御修正ニナッタノハ異議ガアルノデアアリマセヌガ、元ト議院規則ノ方デ討論終局ト云フコトハ第九十六條ニ討論終局ノ動議ガ提出ニナッタ場合ニハ贊成者ノ有無ヲ問ハズシテ討論ヲ用ヒズシテ決ヲ採ルト云フコトニ現行デナッテ居ル、然ルニ二十八人以上ト云フコトニナルト今マデマルデナカッタモノガ俄ニ殖ニル形ニナル、是ガ十八人トカ五人トカ云フコトデアラナラ免ニ角、二十人トスルノハ餘リ殖ニ過ギルヤウデ、非常ノ改正ト言ッテ宜イカ修正ト言ッテ宜イカ大分違ヒデアリマスガ、委員會デハ是ニハ餘程何カ理由ガアッテ、サウシタノデアリマスカ

○男爵末松謙澄君 是ハ委員會ニ於キマシテ調ベマシタニハ實ハ衆議院ニ於テハ二十人以上トナッテ居リマス、ソレデ大凡衆議院ニ則ッテコチヲモ二十人以上シテ宜カラウト云フ積デシタノデアアル、若シ他ノ國ノ例杯ヲ引キマスト中、斯ウ云フコトデキカナイ國モアル、ソレデ討論終局ト云フコトハ隨分重イコト少クシヤウト云フ程ノ說ハ委員會デハ出ナカッタ、大凡此位デ宜カラウト云フノデアアリマシタ

○子爵堀田正義君 モウ一遍伺ヒマスガ、サウ致スト衆議院ノ現在ノ討論終局ノ場合ガ斯ウナッテ居ルカラ衆議院ノ討論終局ノ場合ト同シ風ニシタノデアアルト云フコトデアアル、サウ致スト衆議院ノ議員ノ數ト貴族院ノ議員ノ數トニ附イテ餘程考ヘナケレバナラヌガ、其邊ニ附イテハ御研究ガアリマシタカ

○男爵末松謙澄君 ソレハ必シモ衆議院ヲ真似ナケレバナラヌト云フコトハナイノデアアル、幾人トカ決メナケレバナラヌ、詰リ程度論デアリマスカラ絕對的何人デナケレバナラナイト云フ割出シハ固ヨリナイノデアアリマス、凡ソ適宜ニ此位ノ人數デ宜カラウト云フ意味合ニ過ギナイノデ、其意味合ニ於テハ貴族院ニ於テモ二十八人位、果シテ討論ガ長過ギル、是ハ何レ妨害的ニナルト論デアアルガ故ニ之ヲ止メヤウト云フトキニナッテハ二十八人位ノ贊成ヲ得ルコトハ難クハナイト思フ、或ハ二十人デハマダ少イト云フ論モ一方カラハ起ル位デアアル、餘リ少クシテ置クト唯少數ノ者ガ言立テサヘスレババキニ討論終

結ノ議ヲ表決ニ付サナクチャナラヌト事フコトニナツテ矢張餘リ輕易ニ出
來過ギルト云フ考デアル、ワコデ二十八位ハ相當デアラウト云フ考デ斯様ナ
ルコトニ致シタヤウナ譯デアリマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別段御發議ハゴザイマセヌカ、別ニ御發議ガゴ
ザイマセネバ是ヨリ採決ヲ致シマス、是ハ無論三讀會ノ順序ヲ經ルベキモノ
デハゴザイマセヌ、全部ヲ問題ニ供シマス、全部御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 然ラバ可決ト認メマス、次ニ明治二十九年年度決
算ニ關スル決議案、會議、決算委員長報告

(左ノ決議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

決議案

貴族院ハ明治二十九年年度歳入歳出總決算中歳出經常部拓殖務省所管第三款
第四項製藥所費ノ支出ニ係ルモノ、中明治二十九年勅令第三百十號ノ特例
ヲ内地ニ於ケル物件ノ購入ニ適用シ競争入札ニ依ルヘキモノヲ隨意契約ニ
付シタルハ會計法第二十四條ニ違背シタル不當ノ處置ナリト議決ス

(侯爵細川護成君演壇ニ登ル)

○侯爵細川護成君 明治二十九年ノ決算ノ御報告ヲ致シマス、此決算ハ各分
科會ニ於キマシテ詳ニ審査致シマシタ次第第ゴザイマスル故ニ詳細ナル御質
問ガゴザイマスレバ分科會ノ主査又ハ政府委員ヨリ御答辯ニ相成ツタ方ガ御
便宜ト存ジマスルニ依テ、本員ハ此二十九年年度ノ決算ノ中ニ決議案ヲ提出致
シテ置キマシタ理由ヲ御報告ニ及ビマス、此決議案ハ拓殖務省ノ所管第三款
第四項ノ製藥所費ノ支出ノ所デゴザイマス、是ハ詰リ明治二十九年勅令第三
百十號解釋ノ上ヨリ斯様ナコトニナツタデアリマス、此二十九年勅令第三百
十號ハ臺灣總督府ニ於キマシテハ千五百圓以内ノ物件ノ購入ハ總テ此隨意契
約ニ依ルト云フコトニ許シテゴザイマス、然ル處此勅令ノ主意ハ臺灣
島内ニ限ラレタモノト見タデアリマス、臺灣島内ニ於キマシテハ内地同様
ニ參リマセヌカラレテ千五百圓マデノ隨意契約ヲ許シタモノト見マシタノデ
アリマス、然ルニ此製藥所費ノ支出ノ中ニ此勅令第三百十號ノ特別法ヲ内地
ニ於ケル物件ノ購入ニ適用シテゴザイマスルノデ、ソレニ附イテ此拓殖務省
ノ答辯ハ此勅令ハ決シテ臺灣島ノ内外ヲ以テ限ツタモノデハナイ、總テ臺灣
ニ要スル物件ノ購入ハ内外ヲ問ハズ決シテ此勅令ニ依テ施行シテ行クト云フコ
トニナツテ居リマス、然ルニソレニ附キマシテ政府委員ニモ質問ヲ致シマシ
タル所臺灣ニハ至急ノコト、例ヘバ土匪ノ討伐ノ如キ種々至急ヲ要スル場合
モアルカラ内地ニ於テノ物件ノ購入ニモ是非此勅令ハ必要デアルト云フ答辯
デアリマシタガ、至急ノ場合ノ取除法ハ會計法ニ列記シテゴザイマス、ソレ
故ニ矢張是ハ立法者ノ主意ハ臺灣島内ニ許シタモノト見テ然ルベキモノト云
フコトニ致シマシタ、既ニ此勅令ヲ以テ今日尙ホ矢張臺灣島ノ内外ヲ以テ限
ラズ内地ニ於テモ此臺灣島ニ於ケル物件ノ購入ニハ此勅令ヲ適用シテ居ル
ト云フコトデアリマス、是ハ矢張臺灣島内ニ限ルガ宜シイ、是ハ會計檢
査院ノ報告通ニ會計法第二十四條ニ違背シタモノト決議シテ宜シト云フコ
トニ委員會ニ於キマシテハ決議シタ次第第ゴザイマス、唯今申述ベマシタ通

詳細ナル御質問ガアレバドウカ是ハ各分科會ノ主査ヨリ御報告ニナルコトニ
致シマシテ此決議案ヲ提出致シマシタル主意ダケヲ簡短ニ御報告致シマス
○子爵高野宗順君 大分定足數ガ足ラヌヤウニ思ヒマスガ如何デゴザイマス
カ

○副議長(侯爵黑田長成君) 今取調ベマス、唯今ノ決議案ニ附イテ別段御發
議ハゴザイマセネバ決ヲ採リマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、次ニ國費ヲ以テ國學院ヲ保
護スルノ建議案、子爵長岡護美君外二名發議、會議、前會ノ續、是ハ發議者
ノ演說ハ前會ニ濟ンデ居ルノデゴザイマス

○菊池大麓君 發議者ノ演說ハモウ御濟ニナツタノデスカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 前會ニモウ濟ンデ居リマス

○菊池大麓君 本員ハ前ノ發議ヲ伺ヒマセヌデゴザイマス、此國學院ト申ス
ニ御述ニナツタカ知レマセヌガ少シ質問ヲ致シタウゴザイマス、此國學院ト申ス
ノハドウ云フコトノ學問ヲ御指シニナルノデアリマス、夫レヲ伺ヒタイノ
デアリマス、又國學院ヨリ外ニ國學院ヲ修メテ居ル學校ハナイト云フコトハド
コデ御確メニナツタデアリマス、此二箇條ヲ伺ヒタウゴザイマス

○渡邊洪基君 唯今ノ問題ニナツテ居ルノハ既ニ一遍建議シタモノデ其催促
見タヤウナモノデアリカラ今更ツンナコトヲ論ズル必要ハナイト思フ

○菊池大麓君 假令一遍可決ニナツテ居リマシテモ、其時私ハ居リマセヌ
デアリマシタノデゴザイマセウ存ジマセヌデゴザイマシタガ、若シ事實ニ於
テ誤ガアリマスレバソレヲ正スコトハ差支ナイト考ヘマス、本員ハ質
問ノ上此建議案ハ委員付託ニナリタイト云フ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

○男爵玉松眞幸君 唯今ノ國學院ト云フ意味ハ如何ナルモノガ國學院デア
カト、唯今ノ質問ノ御答ニ依ッテ勸議ヲ提出スル積デアリマス

スルノ學校ハ唯リ皇典講究所ノ國學院ノミデアルト云フコトハ是ハ事實ニ相違シテ居ルコト、考ヘマス、此前ニ此案ガ可決ニナリマシタト云フコトハ私ニ於テハ甚ダ遺憾ナコト、考ヘルノデアアル、是ハドウシテモ事實ニ於テ相違シテ居ルコト、考ヘマス、免ニ角此案ハ委員付託ニナリマシテ調査ノ上デ更ニ提出ニナルヤウニシタイト考ヘマスカラ本員ハ委員付託ノ動議ヲ提出致シマス

○久保田讓君 私モ菊池君ノ委員付託説ニ賛成ヲ致シマス、私ハ前此決議ニナッタカ如何デゴザイマシタカ存シマセヌガ、全體此本案ハ直グニ否決ヲサレテモ宜カラウト存シマスガ併ナガラ第九議會ニ於テ決議ニナッタ多數ヲ以テ一旦決議ニナリマシタコトデゴザイマスカラ再ビ今日ニ在ッテハ能ク委員ニ付託シテ慎重ナ調ベヲ致シタラ宜カラウト思フ、此事柄ハ此理由書竝ニ建議書ニ依リマスレバ甚ダ輕カラヌ事柄デアアルノデゴザイマス、國體ヲ保存スルトカ或ハ國體ノ鞏固ヲ圖ルトカ云フヤウナコトデ實ニ重要ナ事柄デアリマス、ソレデ若シ今我邦ノ教育部内ノ大學ニモナケレバ中學ニモ小學ニモナイ、中學、小學、大學ト云フヤウナ國費ヲ以テ立テ、居ルモノガ國體ナゾノコトハ願ミヌト云フコトニナッタハ非常ナコトデアアル、ソレニ反シテ若シ國家教育ト云フモノガ能ク主義目的ヲ達シテ居ルト云フ斯様ナ名義ヲ以テ補助スルト云フコトニナッタハ一向分ラヌコトデアアル貴族院ニ於テ此ノ如キ重大ナル建議ヲ致スニ附キマシテハ固ヨリ慎重ニ考ヘテ決シナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマスカラシテ願ハクハ矢張委員ニ付託ヲシテ篤ト調査ニナッタ建議ニナランコトヲ希望致シマス

○伊澤修二君 本員モ委員付託ニ賛成

○副議長(侯爵黑田長成君) 最早今日ハ定足數ニ缺ケテ居リマス、此問題ニ附イテハ段々御説モアルヤウデゴザイマスカラ今日ノ會議ハ延バシタ方ガ然ルベク考ヘマス、延會致シマス、明日ノ議事日程ヲ報告致シマス

(太田書記官長朗讀)

午前十時開議

- 第一 動産銀行法案(政府提出案) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第五 外國人ノ抵當權ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第七 葉煙草專賣法違犯事件ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第九 領事官ノ職務ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第十 華族令中改正ニ關シ貴族院令第八條ニ依 全院委員會(前會御諮詢ノ件)(政府提出)

- 第十一 國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案(子爵長岡發議) 會議(前會)
- 第十二 廣島縣下糸崎港ヲ輪出入港ト指定スルノ建議案(男爵尾崎三良君外二名發議) 會議
- 第十三 官立農事試驗場ノ支場ヲ廢シ府縣立農事試驗場ノ國庫補助費ヲ增加スルノ建議案(周布公平君外一名發議) 會議
- 第十四 區裁判所設置ノ請願 會議
- 第十五 不正肥料販賣取締法制定ノ請願 會議
- 第十六 金粉金箔製造賣買取締法制定ノ請願 會議
- 第十七 衆議院議員選舉法改正ノ請願 會議
- 第十八 營業稅法改正ノ請願 會議
- 第十九 鹽田特別地價修正ノ請願 會議
- 第二十 船舶司檢支所設置ノ請願 會議
- 第二十一 蠶種檢査法追加ノ請願 會議
- 第二十二 日清貿易機關銀行設立ニ關スル請願 會議
- 第二十三 清國債金ノ一部ヲ教育費ニ充ルノ請願 會議
- 第二十四 電信局開設ノ請願 會議
- 第二十五 村境界變更ニ關スル請願 會議
- 第二十六 郡役所ヲ廢スルノ請願 會議
- 第二十七 小學校教育費國庫補助ノ請願 會議
- 副議長(侯爵黑田長成君) 本日ハ散會 午後二時四十七分散會

貴族院議事速記錄正誤

頁 段 行 誤 正
五四五 上 四一ノ金 ノ全